2023年 104回生

臨床実習案内 1



慶應義塾大学医学部

卒業時コンピテンス

慶應義塾大学医学部学生は卒業までに、コンピテンスⅠ~Ⅶ (科目の履修により修得される能力)を身につける。

I. プロフェッショナリズム

慶應義塾大学医学部学生は、卒業時に、

- 1.人間の尊厳を尊重し、患者の福利を優先して行動できる。
- 2.医師としてふさわしい身なり、振る舞いをす ることができる。
- 3.医の倫理と生命倫理の原則を理解し、それに基づき、考え、行動できる。
- 4.法的責任・規範を遵守する。
- 5.医療資源、医療システムの公平性を理解し、 患者、患者家族の心理・社会的要因と社会 的背景に配慮し、その立場を尊重する。
- 6.患者の自律性を尊重し、敬意、思いやり、共感、誠実、正直、高潔な心で、対応することができる。
- 7.自己の知識、技能、態度の向上を目指し、 生涯にわたり自律的に学びつづけることがで きる。
- 8.独立自尊の気風を養い、自己管理・自己評価を行い、自身で責任を持って考え、行動できる。
- 9.患者情報など個人情報を守秘する責務を 理解し、実践できる。
- 10.医学、医療の発展、人類の福祉に貢献することの重要性を理解する。

Ⅱ. 医学知識

慶應義塾大学医学部学生は、卒業時に、診療や研究の基盤となる基礎医学、臨床医学、社会医学、公衆衛生学などに関する以下の領域の知識を習得し、応用することができる。

- 1.正常構造・機能
- 2.遺伝、発達、成長、加齢、死
- 3.心理、行動
- 4.病因
- 5.構造・機能異常
- 6.診断、治療
- 7.疫学、予防
- 8.医療経済

Ⅲ. 診療の実践

慶應義塾大学医学部学生は、卒業時に、

- 1.患者病歴の聴取を適切に実践できる。
- 2.身体診察を適切に実践できる。
- 3.基本的臨床手技や緊急処置を安全に 実践できる。
- 4.主要な検査所見の解釈ができる。
- 5.臨床推論に基づく診断過程を系統的に 実践できる。
- 6.臨床推論の過程を反映させた診療録の作成を実践できる。
- 7.患者の療養計画及び疾患管理·予防計画 の策定が実践できる。

- 8. 病状説明・患者教育を、監督・指導のもとで実践できる。
- 9. 医療安全・感染対策を実践できる。
- 10. 電子リソースなどを用いて関連情報を検索し、 EBMを実践できる。

IV. コミュニケーション

慶應義塾大学医学部学生は、卒業時に、

- 1.患者および家族と、傾聴、共感、支持的態度を示すコミュニケーションを実践できる。
- 2.同僚や他の医療職とチーム医療を実践できる。
- 3.社会、地域からの医療に対するニーズを理解できる。

V. 医療・福祉への貢献

慶應義塾大学医学部学生は、卒業時に、

- 1.保険制度をはじめとする診療提供システムを 理解し、活用できる。
- 2.各種医療専門職の役割を理解し、協力できる。
- 3.地域の医療資源について理解し、活用できる。
- 4.疾病予防・健康増進を理解し、その活動に参加できる。

VI. 科学的探究

慶應義塾大学医学部学生は、卒業時に、

- 1.医学研究が医学・医療の発展や患者の利益の 増進を目的とすることを理解できる。
- 2.科学的思考に基づいた批判・討論ができる。
- 3.未解決の医学的問題を理解し、仮説をたてて、 それを解決する具体的な方法を立案し実践で きる
- 4.研究の立案・実践・発表における倫理的な配慮ができる。
- 5.データベースを検索し、必要な科学情報を得ることができる。
- 6.実習・実験結果を適確にプレゼンテーションすることができる。
- 7.適切な統計手法を選択し、統計解析することができる。

VII. 国際医療人としての資質

慶應義塾大学医学部学生は、卒業時に、

- 1.英語の医学・医療情報を入手、理解し、英語 での情報発信ができる。
- 2.英語以外の外国語の学習を通じて、当該言語による必要な情報の入手、異文化の理解ができる。
- 3.健康問題や疾病予防について国際的視野に 立って理解できる。

医学部教育目標

独立自尊の気風を養い、豊かな人間性と深い知性を有し、 確固たる倫理観に基づく判断力をもち、生涯にわたって医学の研鑚を続け、 医学と医療をとおして人類の福祉に貢献する人材を育成する。

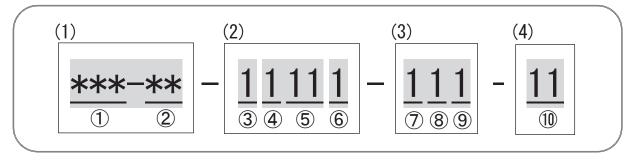
授業科目ナンバリング (K-Number)

2022 年度より、全授業科目に対して、レベルや学問分野、授業実施形態等を示す番号を付番する授業科目ナンバリング制度(K-Number)を導入します。

K-Number によって興味関心のある学問分野を検索し、体系的な学修計画に基づいた学びが可能となります。

なお、複数の学部・研究科に併設された授業科目については、各学部・研究科ごとに異なる K-Number が付与されます。

● K-Number の構成



● K-Number の詳細

			種類	内容
(1)	科口	1	学部・研究科	科目が設置されている学部・研究科、学科・専攻等をアルファベットで
	目設置	2	学科・専攻	示します。 医学部は、FME-ME です。
(2)	科目主番	3	レベル (履修学年の目安)	全学共通の考え方に基づいた科目のレベルを数値で示します。 0:学部共通 1:1年次配当レベル (または入門/導入レベル) 2:2年次配当レベル (または基礎レベル) 3:3年次配当レベル (または応用/発展レベル) 4:4年次配当レベル (または専門/実践レベル) 5:5年次以上配当レベル (または高度レベル) 6:修士課程配当レベル 7:博士課程配当レベル 8:専門職学位課程配当レベル 9:その他
	号	4	大分類	各学部・研究科科目を体系化し分類を数値で示します(※1)
		(5)	小分類	
		6	科目種別	科目を修得した場合の種別を数値で示します。 1:必修科目、 2:選択必修科目、 3:選択科目、 4:自由科目、 9:その他
(3)	科	7	授業区分(全塾共通)	授業の区分を数値で示します。 1:語学、2:講義、3:演習、4:実験・実習・実技、5:論文、6:研究指導、7:講義および実習、9:その他
	目補足	8	授業実施形態(全塾共通)	授業実施形態を数値で示します。 1:対面授業(主として対面授業)、2:オンライン授業(主としてリアルタイム形式)、3:オンライン授業(主としてオンデマンド形式)、4:オンライン授業(全回オンデマンド形式)
		9	授業言語(全塾共通)	授業言語を数値で示します。 1:日本語、 2:英語、 9:その他
(4)	学問分野	10	学問分野 (全塾共通)	学問分野を数値で示します(※2)。

※1 医学部における分類 (大分類、小分類)

值④	大分類	值⑤	小分類
1	人文・社会科学科目、基礎科学必修科目	10	人文科学
		20	社会科学
		50	基礎科学必修科目
2	外国語科目	10	英語
		20	ドイツ語
		30	フランス語
3	医学基礎教育科目、基礎・社会医学系科目、自主学習	10	医学基礎教育科目、基礎・社会医学系科目
		50	自主学習
4	臨床医学系科目(臨床実習開始前)	10	臨床医学系科目
		80	CBT
		90	臨床実習入門
5	臨床医学系科目(臨床実習開始後)	10	臨床医学系科目
		50	基礎臨床統合医学
		60	CPC
		90	臨床能力総合評価
0	その他	90	自由科目

※2 学問分野一覧

※2 字問分對	区分	店 面	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
		值⑪	
1	思想、芸術およびその関連分野	38	農芸化学およびその関連分野
2	文学、言語学およびその関連分野	39	生産環境農学およびその関連分野
3	歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野	40	森林圏科学、水圏応用科学およびその関連分野
4	地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野	41	社会経済農学、農業工学およびその関連分野
5	法学およびその関連分野	42	獣医学、畜産学およびその関連分野
6	政治学およびその関連分野	43	分子レベルから細胞レベルの生物学およびその関連分野
7	経済学、経営学およびその関連分野	44	細胞レベルから個体レベルの生物学およびその関連分野
8	社会学およびその関連分野	45	個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野
9	教育学およびその関連分野	46	神経科学およびその関連分野
10	心理学およびその関連分野	47	薬学およびその関連分野
11	代数学、幾何学およびその関連分野	48	生体の構造と機能およびその関連分野
12	解析学、応用数学およびその関連分野	49	病理病態学、感染・免疫学およびその関連分野
13	物性物理学およびその関連分野	50	腫瘍学およびその関連分野
14	プラズマ学およびその関連分野	51	ブレインサイエンスおよびその関連分野
15	素粒子、原子核、宇宙物理学およびその関連分野	52	内科学一般およびその関連分野
16	天文学およびその関連分野	53	器官システム内科学およびその関連分野
17	地球惑星科学およびその関連分野	54	生体情報内科学およびその関連分野
18	材料力学、生産工学、設計工学およびその関連分野	55	恒常性維持器官の外科学およびその関連分野
19	流体工学、熱工学およびその関連分野	56	生体機能および感覚に関する外科学およびその関連分野
20	機械力学、ロボティクスおよびその関連分野	57	口腔科学およびその関連分野
21	電気電子工学およびその関連分野	58	社会医学、看護学およびその関連分野
22	土木工学およびその関連分野	59	スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野
23	建築学およびその関連分野	60	情報科学、情報工学およびその関連分野
24	航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	61	人間情報学およびその関連分野
25	社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	62	応用情報学およびその関連分野
26	材料工学およびその関連分野	63	環境解析評価およびその関連分野
27	化学工学およびその関連分野	64	環境保全対策およびその関連分野
28	ナノマイクロ科学およびその関連分野	80	システムデザイン工学およびその関連分野
29	応用物理物性およびその関連分野	81	システムデザイン・マネジメント学およびその関連分野
30	応用物理工学およびその関連分野	82	メディアデザイン学およびその関連分野
31	原子力工学、地球資源工学、エネルギー学およびその関連分野	83	理工学(科学技術)
32	物理化学、機能物性化学およびその関連分野	85	総合・複合領域(人文学系)
33	有機化学およびその関連分野	86	総合・複合領域(社会科学系)
34	無機・錯体化学、分析化学およびその関連分野	87	総合・複合領域(自然科学系)
35	高分子、有機材料およびその関連分野	88	総合・複合領域(学際)
36	無機材料化学、エネルギー関連化学およびその関連分野	89	学修スキル
37	生体分子化学およびその関連分野	90	人間医工学およびその関連分野

目 次

【臨床実習案内】	
臨床実習に関して	1
臨床実習時の服装に関して	2
臨床 実習配属表	3
臨床実習の共通の教育目標	4
内 科 学 (呼 吸 器) (K-Number: FME-ME-55101-411-53) ··································	7
内 科 学 (循 環 器) (K-Number: FME-ME-55101-411-53) ··································	8
内 科 学 (消 化 器) (K-Number: FME-ME-55101-411-53) ···············	10
内 科 学 (腎臓・内分泌・代謝) (K-Number: FME-ME-55101-411-53) ············]	12
内 科 学 (神 経) (K-Number: FME-ME-55101-411-52) ······	14
内 科 学 (血 液) (K-Number: FME-ME-55101-411-54) ······	15
内 科 学 (リウマチ・膠原病) (K-Number: FME-ME-55101-411-54)	17
一般・消化器外科学 (K-Number: FME-ME-55101-411-55) ··············	18
小 児 外 科 学 (K-Number: FME-ME-55101-411-55) ······ 2	21
心臓血管外科学 (K-Number: FME-ME-55101-411-55) ···································	22
呼吸器外科学(K-Number: FME-ME-55101-411-55) ···································	23
脳 神 経 外 科 学 (K-Number: FME-ME-55101-411-56) ····································	25
産 学 (K-Number: FME-ME-55101-411-56) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	27
婦 人 科 学 (K-Number: FME-ME-55101-411-56) ······ 2	28
小 児 科 学 (K-Number: FME-ME-55101-411-52) ······ 2	29
精 神 医 学 (K-Number: FME-ME-55101-411-52) ······ :	31
整 形 外 科 学 (K-Number: FME-ME-55101-411-56) ······	32
麻酔学・緩和医療 (K-Number: FME-ME-55101-411-55)	34
臨 床 検 査 学 (K-Number: FME-ME-55101-411-52) ······	35
輸血臨床実習(K-Number: FME-ME-55101-411-54) ······	36
総合診療医学(K-Number: FME-ME-55101-411-52) ······	37
放射線医学(K-Number: FME-ME-55101-411-52) ···················	39
【シラバス】	
	41
	44
114 H3 22	45
	48
	52
	56
, =,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	57
	58
and the second s	59

医学部における臨床実習は、実際の臨床現場に出て、各診療科における基礎から最先端までの診断と治療の実際、これまでに学んだ基礎医学の臨床医学への応用、さらに病める患者さんやその家族に接する医師としての心構えなどを修得するための極めて重要な教育項目である。

教育内容は各診療科によって異なり、内科系・外科系の診療科において医師としての倫理、 心構え、患者さんへの接し方をはじめ病歴の聴取法や診察法、検査手順と簡単な検査法の修得、 処方の出し方や治療法を身につける。外科系の診療科においては病棟での診療技術の修得とと もに、手術への参加や術後管理、さらに手術前後の患者さんや家族への配慮についても修得す る。また臨床実習では慶應義塾大学病院のみならず慶應関連病院における実習もある。

近年、医療の目覚しい進歩に伴い、領域の専門化と知識の細分化が進んでいる。臨床実習では単に知識や診療技術を習得するだけでなく、基礎医学と臨床医学をいかに融合、応用して実臨床に役立てていくかを積極的に学んでほしい。各学生は配属された各診療科の指導医の指示に従って、医師に準ずる扱いで行動することになるが、病に悩む患者さんを治療する医師になるという自覚をしっかりと持ち、患者さんへの対応はその人格を尊重して誠意をもって行い、指導医の指示に機敏に対応して診療の実際を把握することが強く望まれる。以上のようにこれまで学んできた知識を臨床の実践にうつすとともに人を扱う医の倫理を身につけることが臨床実習の目標であり、医師を目指す者としての誇りと高い品格、患者さんの尊厳に対する真摯な態度をもって実習を行ってほしい。

注意事項:(1)毎日臨床実習の内容が異なるので、スケジュールに注意し、集合時刻に遅れないこと

- (2) 実習を通して得た患者さんに関する情報は、学内外を問わず絶対に第三者(同級生を含む)へ漏らさないように留意すること(医師の守秘義務)。
- (3) 医療者として必要な感染対策を実施すること
 - ・診察前後などに必要な手指衛生・防護具着用を実施する
 - ・咳嗽、喀痰、鼻汁などの呼吸器症状がある場合、実習中は必ずマスクを着用する
 - ・発熱、咳嗽、喀痰、発疹、目の充血や掻痒感、下痢などの感染症が疑われる症状が ある場合、実習の参加について病棟に入る前に指導医および学生課へ相談すること

臨床実習時の服装に関して

病院は社会の一部であり、医学生といえども患者さんからみれば、医療チームの一員とみなされます。臨床実習には、適切な態度やマナーで臨みましょう。服装については、患者さんやその家族から常にみられていることを自覚し、患者さんに不快感を抱かせない、信頼される「身だしなみ」を心がけてください。以下のような原則を定めていますので、各自がその趣旨を理解して、実りある臨床実習となるよう努めてください。

▶ 服装

慶應医学生に相応しい、清潔、健康的、機能的な、服装を心がける

- ・臨床実習時の服装はOSCEの際の服装が標準となります。
- ・新型コロナ感染症の影響により、すべての診療科でケーシーの着用を認めます。 白衣も可です。
- ・ケーシーや白衣はこまめな洗濯を心掛け、常に清潔なものを着用してください。
- スクラブは禁止します。
- ・ネクタイの着用は義務付けません。
- ・白衣のほか、聴診器、ペンライト、筆記用具を必ず携帯してください。

※各診療科の特性により、上記と異なる指示を受けた場合は、その指導に従うこと。 ※不明な点は、各診療科に問い合わせること。

w a w a 404	盟	, v=-v	_	7	3	4	5	9	7	∞	9	10	1	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	ψ - -1	
輸血臨床実習 総合診療科 放射線 合計	2月	11 18 -	総	四日	放射	麻酔科	アスト	整形外科	自	體 體 概	心外 条	循内	小外	小児科	産科	婦人科	般外	消入	序文	平	精神科	脳外	神內	-2-	ПС
SW 響目 SW 然配 SW 效學就		4 -	層	放射	麻酔科	リ内	整形外科	自	體 體 整	()外	千	小外	小児科	産科	婦人科	般外	消内	原文 本	平	精神科	脳外	本	総診	4 1	
· ザ・ ・ 緩和医療 ・ 2.0.7	1月		放射	麻酔科	り下	整形外科	自内	計翻換	()外	循内	冰	小児科	産科	婦人科	般外	消内	李	平内	精神科	松岡	神内	総診	腎内	20 27	0
精神医学整形科学麻酔学・緩		6 13	麻酔科	Ų K	整形外科	日日	計 開 数	外外	循内	冰	小児科	産科	婦人科	般外	三	休	平内	精神科	整文	本	総	層內	放射	- 6 - 13	-
A A A α α α α	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	23 30	L F	整形外科	日	編目 福本	本	循内	小外	小児科	産科	婦人科	般外	川	大	日 日	精神科	脳外	本	総	腎内	放射	麻酔科	23 30	
外犁子 小児科学 産科学	10	- 19 19 19	整形外科	日日	福検 ************************************	() ***	循内	1/54	小児科	産科	婦人科	般外	消内	序 文	平	精神科	脳外	神内	総	配	放射	麻醉科	内内	-6 -6 -6	5
<u>~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ </u>		25 2	日	續 間 概	心外	循内	小外	小児科	産科	婦人科	般外	三	序 文	区区	精神科	脳外	神内	総診	四	放射	床醉科	下下し	整形外科	25 2	
	日6	11 -	福伊	()外	循内	小外	小児科	産科 //	婦人科	般外	石川	外	日 日	精神科	脳外	神内	総診	層内	放射	麻酔科	内内	整形外科	自内	-11	
		28 4	次本	循内	184	小児科	産科 1.	婦人科	般外域		序 文	野内 [精神科	脳外帯		総診	層内	放射	麻酔科	内内	整形外科	日内型	計	28 4	
	8月	14 21				7		松			日女		**						医		韶		# 4	14 21	
		31 7																						31 7	
表	7月	(火) (火) - 本											۵۵.	>						-				-14 -24 -34	֭֝֟֝֝֟֝֟֝֩֟֝֩֟֝֩
肥		9 -	循内	小外	小服	産科	婦人科	般外	河	原文 条	序 石	精神科	脳外	本	総	層內	放射	麻酔科	フ 区	整形外科	自	編目 福依	心外 株	3-	
習配		19 26	小外	小児科	産科	婦人科	般外	消内	序文	平内	精神科	松翮	神内	经验	層內	放射	柱基型	ЫŲ	整形外科	目	禮目 臨敬	()外	循内	19 26	
黑	6月	5 12 1	小児科	産科	婦人科	般外	消内	原文 本	平	精神科		神内	総	腎内	放射	麻酔科	Ų K	整形外科	自	體 體 整	冷女	循内	小外	5 12 1	
臨床		2 29	産科	婦人科	般外	消内	野 休	呼内	精神科	脳外	本	総診	腎内	放射	麻酔科	リ内	整形外科	血内	編目 隔板	心外 朱	循内	小外	小児科	59	
	5月	15 22	婦人科	般外	公 無	本。	平内	精神科	脳外	神内	総	腎内	放射	麻酔科	り下	整形外科	日	盟 輸 目	()外	循内	小外	小児科	産科	15 22	
(104回生)		- 0		Æ	长	Ł.	松		Ł.	śij	£	孟	垄	Æ	本本		臨筷	朱	Ł.	<u></u>	料	波	本		_
04	4月	17 24	4 般外	休消内	序文	科 呼内	精神科	4 脳外		る。	村電内	科加勒	5 麻酔科	科リ内	数形外科	類 横 血内	条	公文	4 循内	科小外	4 小児科	科薩科	4 婦人科	17 24	0
		3 10	小	卧女	臣	精神科	脳外	神乙	総認	置口	放射	麻酔科	リ内	整形外科	日子	編目	心外	循内	11/54	小児科	産科	婦人科	般外	3-	
第5学年	3月	20 27	长	יש	本		_D	(ii)	יש	15.	本	יש	華	₽.	監 牧	长	₽.	/	本	_{लि}	本			20 27	
高5	ניי	6 - 13	序文		精神科	脳外	> 神内	総診	1 電力	科加制	3 麻酔科			類 曲 由内	** 編目	心外	循内	취 시外	4 小児科	科産科	婦人科	一般外	休消内	6 13	
- }		20 27	科呼及	精神科		神内神] 総診		科加制	3 麻酔科	素して] 整形外科	類 由内 由内	条 種目	心外	循内	전 기外	4 小児科	科薩科	婦人科	1 般外	休消内	序文	20 27	-
1月	2月	6 - 13	精神科		華	総診	腎内	4 放射	麻酔科	対し	整形外科	南山	編目	心外	循内	* JVM	小师科	y 産科	婦人科	般外	消内	序文	平四内	6 13	
2023年1		23 30	脳外	華	総	腎内	4 放射	麻酔科	1 1 1 1 1 1	整形外科	日日日日	all 配数	突	循向	4 1/54	小児科	y 産科	婦人科	般外	が一が	次 不 不	平	精神科	23 30	-
<u> </u>	1月	6 5 6 -	華	総	四四	放射	麻酔科	フ内	整形外科	目	體 體 整	()外	循内	1/94	小児科	産科	婦人科	般外	河	序文 条	臣 区	精神科	脳外	-e -e -e	[
7			_	7	\sim	4	2	9	/	∞	0	10	7	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	ν=-1	/ 事

- 3 -

臨床実習の共通の教育目標

すべての診療科の臨床実習における共通した教育目標は以下の通りである。

1. 病歴聴取・身体診察と臨床推論

自分が担当する患者について、健康上の問題に関するプロブレムリストを作成する。以下の37の症候を中心に、頻度・重症度を考慮し、鑑別診断を想定しながら、診断に必要な病歴聴取・身体診察をとり、基本的な検査の実施に参加する。

- 1) 発熱
- 2) 全身倦怠感
- 3) 食思(欲)不振
- 4) 体重減少·体重増加
- 5) ショック
- 6) 心停止
- 7) 意識障害・失神
- 8) けいれん
- 9) めまい
- 10) 脱水
- 11) 浮腫
- 12) 発疹
- 13) 咳・痰
- 14) 血痰・喀血
- 15) 呼吸困難
- 16) 胸痛
- 17) 動悸
- 18) 胸水
- 19) 嚥下困難・障害
- 20) 腹痛
- 21) 悪心·嘔吐
- 22) 吐血·下血
- 23) 便秘·下痢
- 24) 黄疸
- 25) 腹部膨隆 (腹水を含む)・腫瘤
- 26) 貧血
- 27) リンパ節腫脹
- 28) 尿量・排尿の異常
- 29) 血尿・蛋白尿

- 30) 月経異常
- 31) 不安・抑うつ
- 32) もの忘れ
- 33) 頭痛
- 34) 運動麻痺・筋力低下
- 35) 腰背部痛
- 36) 関節痛·関節腫脹
- 37) 外傷·熱傷

2. 基本的臨床手技

基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法について事前に十分に理解した上で、指導医の指導・監督の下で自ら実施する、又は指導医の実施を見学し、介助する。

① 一般手技

- 1) 体位交換、移送ができる。
- 2) 皮膚消毒ができる。
- 3) 外用薬の貼付・塗布ができる。
- 4) 気道内吸引、ネブライザーを実施できる。
- 5) 中心静脈カテーテル挿入を見学し、介助する。
- 6) 動脈血採血・動脈ラインの確保を見学し、介助する。
- 7) 腰椎穿刺を見学し、介助する。
- 8) 胃管の挿入と抜去ができる。
- 9) 尿道カテーテルの挿入と抜去を実施できる。
- 10) ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助する。
- 11) 注射 (皮内、皮下、筋肉、静脈内) を実施できる。
- 12) 全身麻酔、局所麻酔、輸血を見学し、介助する。
- 13) 眼球に直接触れる治療を見学し、介助する。
- 14) 診療録 (カルテ) を作成する。
- 15) 各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助する。

② 検査手技

- 1) 尿検査(尿沈渣を含む)を実施できる。
- 2) 末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。
- 3) 微生物学検査(Gram 染色を含む)を実施できる。
- 4) 妊娠反応検査を実施できる。
- 5) 血液型判定を実施できる。
- 6) 視力、視野、聴力、平衡機能検査を実施できる。
- 7) 12 誘導心電図を記録できる。

- 8) 脳波検査の記録ができる。
- 9) 眼球に直接触れる検査を見学し、介助する。
- 10) 心臓、腹部の超音波検査を実施できる。
- 11) 経皮的酸素飽和度を測定できる。
- 12) エックス線撮影、コンピュータ断層撮影 < CT > 、磁気共鳴画像法 < MRU > 、核医学 検査、内視鏡検査を見学し、介助する。

③ 外科手技

- 1) 無菌操作を実施できる。
- 2) 手術や手技のための手洗いができる。
- 3) 手術室におけるガウンテクニックができる。
- 4) 基本的な縫合と抜糸ができる。
- 5) 創の消毒やガーゼ交換ができる。
- 6) 手術、術前・術中・術後管理を見学し、介助する。

④ 救命処置

- 1) 身体徴候、バイタルサインから緊急性の高い状況であることを判断できる。
- 2) 一次救命処置を実施できる。
- 3) 二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。

詳細は医学教育モデルコアカリキュラム (平成 28 年度版) の「F. 診療の基本」「G. 臨床実習」を参考にすること。

授 業 科 目: 内科学(呼吸器)臨床実習

臨床実習期間: 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

呼吸器内科の実習では、呼吸器疾患の診断・治療について病歴・身体所見・各種検査所見などから病態を評価・考察する力を養うことを目標とする。学生は入院患者の診療、気管支鏡や外来の見学、ケースディスカッションなどを通じて、ガイドラインに基づいた診療のみならず、臨床推論と個別化医療へのアプローチも学習する。

2. 教育目標

- ① 病歴、身体所見、胸部画像所見、呼吸機能検査、血液検査所見に基づき、主な呼吸器疾患 (肺癌、肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、睡眠時無呼吸症候群、間質性肺炎)の病態 や活動性の評価ができる。
- ② 気管支鏡検査の適応や禁忌について説明できる。

2. 臨床実習の特徴・特色

- ① 病歴聴取と身体診察の必要性と有用性について理解を深める。
- ② 講義・演習を通じ、基本的な知識を確認する。

3. 主な内容

- ① 入院患者 1-2 名を担当し、病歴聴取と身体診察を行って診断・治療計画を考え、カルテと サマリーを記載する。
- ② 担当患者について自ら疑問を設定し、文献を検索して考察したレポートを作成し、班員同士による議論・吟味を行う。
- ③ 担当患者で Mini-CEX (簡易版臨床能力評価法)を行う。
- ④ 外来診療を見学し、慢性呼吸器疾患についての理解を深める。
- ⑤ 気管支鏡検査を見学し、適応、施行法、合併症などを学ぶ。
- ⑥ オンデマンドビデオの内容に関して理解度を確認するための口頭試問を行う。

4. 評価方法

実習時の姿勢、手指衛生、カルテ記載、担当症例サマリーの完成度、口頭試問、レポートの完成 度、学習態度における積極性をもとに総合的に評価する。

臨床実習担当・連絡者 実務連絡・学生指導・相談:正木克宜(内線)67217

初日集合場所: 8A 多目的ルーム 2

集合時間: 月曜日9:00 (月曜が祝日の場合は原則火曜日9:00)

授業科目: 内科学(循環器)臨床実習

臨床実習期間 : 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

循環器内科の実習では、冠動脈疾患、心不全、不整脈、弁膜症、肺高血圧といったこの領域の主要疾患に関して、症候からの確定診断、そして診断後の治療戦略に関して学ぶ。その大きな目標として、診断や治療を点ではなく大きなフローとして捉え、そのことを日々の症例提示やカルテ記載などに言語化し、最終的に症例サマリとして落とし込めるようになることを目標とする。並行して、循環器内科の代表的な検査・治療手技などの見学や参加を行う。

2. 予定表 (スケジュール例、抜粋)

		8~9	9~10	10~	11	11~12	12~	13	13~	-14	14~15	
	A	8:00 病権カンファ 78 ステーション				オリエン 春坂 情棟カンファ				EP	EP 見学 班(木付先生)	
週目	*					ィードバック 春坂 情棟カンファ					【影察の検 相種先生/勝 東技舎一階 シ	田さん
4	水				東田先 PBI	クルズス] ・不整版 :生(三田病院) -ルームB-1 健の単質を!)						
3	木	7:45 建例カンファ 新権11F	ブレ教授回診 教育セッション 新棟11F		教授回診 (奇数器) 75病権		ランチ セミナ 11F中気					
)												

3. 教育目標

- 1)得られた情報を元に、問題点を抽出し、鑑別診断を挙げられる。また、診断・治療計画を立てられる。その詳細については「循環器内科クラークシップの手引き」を参照。
- 2) 医療面接における基本的コミュニケーション技法を実践できる。主訴、現病歴、既往歴、家族歴、個人歴、システムレビューを実施できる。そして、その内容を SOAP 形式で記載し、受け持ち患者の情報を診療チームに簡潔に説明できる。

4. 臨床実習の特徴・特色

1)循環器内科の病棟のチーム(8ユニット)はオーベン(5-7年目)とネーベン(1-3年目)の二名で構成される。そのスーパーバイザーとしては病棟チーフ[8年目以上]と病棟医長が存在する。

各学生はそれぞれチームに配属され、担当患者を 1-2 名受け持つ。

- 2) 本実習では、その担当症例のプレゼンテーションを「**適切なフォーマット**」で行うことに主眼を置いており、そのフィードバックを週に数回担当チューター(病棟のチームとは別担当)から受ける
- 3) さらに、基本的な循環器の疾患や検査方法に関してスモールグループのクルズスで学ぶ(心不全、不整脈など)。

4) 適宜心臓カテーテル検査や電気生理学的検査(EPS)を見学し、その適応、治療方針決定のプロセスについて理解を深める。

5. 主な内容

- 1) 自ら病歴聴取や診察を行い、診断・治療計画を考え、カルテを記載する。
- 2) ラウンド(回診)、フィードバックセッションに参加して担当患者のプレゼンテーションを行う。クルズスでは学生は積極的に質問をし、より深いテーマまでディスカッションを深めることが推奨される。
- 3) チームの一員として実際のマネジメントの立案に参加する。個々の症例の問題点を把握し、検査結果の評価法や治療方針について指導を受ける。患者・家族への説明などにも立ち会うことが望ましい。

6. 評価方法

実習への出席、学習の態度、担当症例のサマリ・カルテの記載など。

7. 連絡先

科		責任者	連絡先	初回集合場所	集合時間
循環器内科	循環器内科	香坂・平出・谷	61422	Web にて通知	8-9 時

授 業 科 目: 内科学(消化器)臨床実習

臨床実習期間: 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

消化器内科の実習では、身体診察や病歴聴取、カンファレンスでの検討を通じて患者の病態を理解 し、患者毎に適した診断・治療方針決定のアプローチの実際を学ぶ。内視鏡診療を含む外来・入院 診療への参加やプレゼンテーションの経験を通じて、実臨床において多様な病態に対応するために 求められる基盤的能力を身につける。

2. 教育目標

- ① 問題解決能力を有する医師としての素養を身につける。
- ② 医療面接能力を高める。
- ③ プレゼンテーション能力を高める。
- ④ 参加型臨床実習を通じてチーム医療としての医師の病棟業務・プロフェッショナリズムを理解 する。
- ⑤ 消化器内科領域で行われている検査の概要について理解する。
- 3. 臨床実習の特徴・特色
- ① 臨床グループの一員として入院症例の診療に参加する。
- ② 実際の臨床現場、内視鏡検査、治療を通じて消化器内科領域の疾患の病態、診断および治療について理解を深める。
- 4. 主な内容 (病棟実習、回診、カンファレンス等)
- ① 消化器内科腹部診察実習後に各臨床グループ(上部・内視鏡、下部・IBD、腫瘍、肝臓、胆膵) に所属し、病棟実習をおこなう。個人毎にスケジュールは異なり、実習初日に配属グループの 決定およびオリエンテーションをおこなう。
- ② 病棟実習:毎日担当患者の診察をおこない、カルテを記載する。身体所見の取り方、カルテの記載方法と思考過程について所属グループスタッフより適宜指導をうける。
- ③ 症例検討クルズス:指導医立会いの元、学生が担当症例についてカンファレンス形式でプレゼンテーションとディスカッションをおこない、消化器疾患に関する理解を深める。同グループの学生間で知識を共有することで理解を深める。
- ④ 教授回診(2 週目水曜午後):担当患者のプレゼンテーションをおこない、フィードバックを 受ける。
- ⑤ 内視鏡実習:内視鏡のシミュレーター実習をおこない、理解を深める。
- ⑥ 検査等の見学:各種内視鏡や内視鏡治療手技、ラジオ波焼灼療法等を見学する。
- ⑦ 外来実習:外来診療を見学し、消化器疾患に関して理解を深める。
- ⑧ カンファレンス:新入院カンファレンスなどに参加する。

5. 評価方法

最終日に症例検討クルズスに用いたスライドを提出する。スライド内容、実習態度(各指導医よりの評定)、出席状況を併せて、総合的に評価する。

臨床実習担当・連絡者 実務連絡 <u>杉本 真也</u> (内線) <u>67318</u>

 学生指導・相談
 岩崎 栄典
 (内線) 67306

授業科目: 内科学(腎臓・内分泌・代謝) 臨床実習

臨床実習期間: 2週(60時間)(腎臓、内分泌・代謝各1週)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

腎臓・内分泌・代謝内科学の実習では、高血圧、糖尿病などの生活習慣病に加えて、電解質異常、 腎機能障害、内分泌疾患などの概念、身体所見、検査所見、診断、治療を幅広く習得することを目標とする。学生は大学病院外来、病棟、血液浄化透析センター、アンギオ室、ケースディスカッションでの経験を踏まえ、臨床推論、予防医療、デバイス管理、透析管理、EBMの実践などを学ぶ。

2. 教育目標

腎臓・内分泌代謝疾患の患者さんを診察することを通して、患者さんとのコミュニュケーション、基本的な接遇態度を養うと共に、看護師、栄養士、他医師などとのコミュニュケーション能力を養い、チーム医療の一翼を担う自覚をもつ。

腎疾患は経過が長く、また多臓器の障害を合併している例が多いので、現病歴・身体所見を正確にとる習慣を身につける。術前・術後の電解質・腎機能障害、腎不全症例の管理など他の診療 科から依頼される症例も多いので多方面にわたる知識が求められる。

また、糖尿病を中心とした内分泌・代謝疾患の概念、疫学、分類、臨床検査の意義と評価法、 合併症の治療、管理方法を修得する。特殊な病態における内分泌代謝疾患の管理、治療を修得す る。インスリン製剤、血糖自己測定器や持続血糖モニタリングなどのデバイスの扱い方を修得す る。

当診療科は、いわゆる生活習慣病である高血圧、糖尿病、脂質異常症および肥満の重積と腎臓を中心とした多臓器合併症を認める患者さんが多い。したがって、患者さんの病態を総合的にかつ正確に捉え、予後改善にむけた適切な治療方針を決定していく診療態度を体得することを目指す。

3. 臨床実習の特徴・特色

糖尿病の血糖コントロール目的を含めた教育入院、糖尿病合併症に伴う症状の加療目的の入院、 急性代謝失調加療目的の入院、その他、種々の内分泌疾患などの患者の精査・治療方針決定のため の入院が多い。症候的には、口渇、肥満、るいそう、甲状腺腫、高血糖、低血糖、乳汁分泌、高身 長、低身長、高血圧、電解質異常、多毛症、月経異常、脂質異常症など全身管理を必要とする症例 が多く、問診、身体所見の取り方、検査所見の解釈について重点が置かれる。

腎臓分野では急性・慢性腎不全、急速進行性糸球体腎炎症候群、維持透析患者の種々の合併症、 蛋白尿、血尿、ネフローゼ症候群、糖尿病腎症をはじめとする続発性糸球体疾患、高血圧などの 症例が中心となる。全身管理を必要とする症例も多く、現病歴、身体所見のとり方についてとく に重点をおいている。

- 4. 主な内容 (病棟実習、クルズス、回診、カンファレンス等)
- ① 腎臓・内分泌・代謝と1名ずつの入院患者を受け持ち、病歴の聴取および身体所見の評価と 問題思考解決型診療記録に基づいたカルテ記載について習得する。主治医チームによる鑑別 診断、検査、治療方針、問題点などの検討に参加する。
- ② クルズス(高血圧、腎疾患、血液透析、腹膜透析、食事療法、糖尿病、内分泌疾患など)を 受ける。
- ③ 腎生検・血管撮影、血液透析、CAPD、画像診断などを可能な限り学ぶ。また、糖尿病の病態 評価、合併症の評価、内分泌負荷試験などを学ぶ。

5. 評価方法

診療録記載や OSCE (診察手技)、サマリー、口頭試問、オンラインクルズスへの出席を含めた 実習態度などによる。実習後半に実習成果のチェックを行う。

臨床実習担当・連絡者 実 務 連 絡

<u>木内 謙一郎</u> (内線) <u>67652</u>

<u>川野 義長</u> (内線) <u>67402</u>

学生指導·相談

伊藤 裕 (内線) 62740

授 業 科 目: 内科学(神経)臨床実習

臨床実習期間: 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

神経内科学臨床実習では病棟実習、外来見学を通して神経学的所見の取り方を学び、得られた 所見から病巣診断と鑑別診断を考える過程を理解する。また、実習およびクルズスを通して、代 表的な神経疾患の病態と治療に関する最新知識を身につけることを目標とする。脳卒中チーム、 非脳卒中チームに 1 週間ずつ所属し、実習を行う。

2. 教育目標

- ① 神経学的診察と記載方法を習得する。
- ② 神経学的所見から病巣診断と鑑別診断を考える過程を理解する。
- ③ 画像検査(頭部 CT・MRI等)、神経生理学的検査(筋電図・脳波等)、髄液検査などについて理解する。
- ④ 代表的な神経疾患の病態と治療に関する知識を身につける。
- ⑤ 医師国家試験に必要な知識の取得と問題解決能力の訓練をする。

3. 臨床実習の特徴・特色

- ① 病棟実習、外来・検査見学、クルズスを通じて、神経学的診察方法、局在診断と鑑別診断 を考える過程、各疾患の病態と治療法を学ぶ。
- ② 学生主体で予定を組む、自由度の高い実習システムである。
- ③ 脳卒中患者 1 例を受け持ち、その疾患についての概要と症例毎の臨床的問題点について理解を深める。
- ④ 教授回診、チャートカンファレンスを通じて、神経内科に特有の神経学的診察、 病巣診断、鑑別診断、治療方針について深く学ぶ。

4. 主な内容(病棟実習、外来見学、クルズス、カンファレンス等)

- ① 病棟実習では、担当医の指導の下、病歴聴取、神経学的診察を行う。神経学的所見、 そこから導かれる病巣診断、鑑別診断などについて考察する。
- ② チャートカンファレンスでは、入院患者についてのプレゼンテーションを聴講し、 様々な神経疾患の病態・治療についての理解を深める。
- ③ 初診外来、専門外来(神経免疫疾患、認知症、パーキンソン病、ALS、頭痛、てんかんなど)を見学し、神経疾患に関する知識を深める。
- ④ 筋電図・神経伝導検査の見学を通じて、検査方法と神経・筋疾患の診断方法について 理解を深める。

5. 評価方法

① 病棟実習、外来見学、クルズス時の質疑応答、チャートカンファレンスへの出席をもとに点数をつける。当科では自主性を重要視する。

6. 初日の集合場所・時間

① 非脳卒中チーム

場所:3号館北棟4階409号室(神経内科オフィス)時刻:月曜午前10時00分

② 脳卒中チーム

場所:3号館北棟4階409号室(神経内科オフィス)時刻:月曜午後1時00分(月曜日が休日の場合は、開催形式や集合場所、時間を前週に連絡する)

臨床実習担当・連絡者実務連絡二瓶義廣 (内線) 医局 62316,携帯 67204学生指導・相談二瓶義廣 (内線) 医局 62316,携帯 67204

授業科目: 内科学(血液)臨床実習

臨床実習期間: 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

血液内科の臨床実習では、造血細胞の働きや形態、代表的な血液の良性疾患(貧血や血栓止血疾 患)や悪性疾患(急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫)の病態をオンラインによる症例検討 を通して学ぶ。また、病棟で患者を担当し、造血器腫瘍に対して行われる化学療法や造血幹細胞移 植とその支持療法について学ぶ。

2. 教育目標

- ① 問題点を認識して、それを評価できる能力を習得する。
- ② 適切なコミュニケーション、問診、身体所見を取れるようになる。
- ③ 日常診療の流れを理解し、さらには血液学、日和見感染症の基礎知識を身につけ、病態の 理解を深める。

3. 臨床実習の特徴・特色

- ① 担当する血液疾患の患者さんの診察を行い、患者さんの症状・訴えを傾聴し、適切な問診を行い、そこから挙げられる問題点を身体所見・検査所見診断からアセスメントし、患者さんへプランされ、ケアが施される流れを理解する。
- ② 治療の効果や副作用の評価法を学ぶことができる。
- ③ 他の学生が担当している症例に関するディスカッションに全員で参加する。
- ④ 講義を通じて担当症例以外の多くの疾患の理解を深めることができる。
- ⑤ 学生参加型のケーススタディを通した学習を行う。
- ⑥ 問診、身体所見の取り方、カルテ記載について指導が行われる。
- ⑦ 症例プレゼンテーションを実践し、病態の理解を深めることができる。
- ⑧ 主な血液疾患の血液形態学を学び、理解することができる。

4. 主な内容 (病棟実習、回診、カンファレンス、院外実習等)

- ① 病棟実習では、担当患者さんの問診、診察、検査結果の確認を行い、指導医と日々の変化 についてディスカッションして、カルテ記載を行う。
- ② 担当患者さんに実施される処置(抗腫瘍薬投与、骨髄検査、腰椎穿刺、輸血、移植のための造血幹細胞採取、造血幹細胞輸注〈移植〉など)を見学し、その手法・合併症などを学ぶ。
- ③ 担当患者さんのプレゼンテーションを行い、指導を受ける。
- ④ 主な造血器腫瘍に関する講義やケーススタディ、凝固異常、貧血といった血液良性疾患の 講義、血液形態学の講義を行う。
- ⑤ 最終日に担当症例の病歴要約を提出し、それをもとに試問を行う。

5. 評価方法

出席、講義や病棟実習における態度・習得度、日々のディスカッション内容、レポート (病 歴要約等)、口頭試問に対して、複数の指導医により総合的評価を行う。

臨床実習担当者·連絡者 実務連絡 <u>清水 隆之</u> (內線) <u>67485</u>

学生指導・相談 <u>清水 隆之</u> (内線) <u>67485</u>

Email: taka-sh@keio.jp

授業科目: 内科学(リウマチ・膠原病)臨床実習

臨床実習期間: 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導を行う】

1. 科目の概要

膠原病学および免疫学の知識に基づいて患者の問題点を全人的に把握し、問題解決に向けた実践的な対応を学ぶ。学生は大学病院の外来や病棟、臨床カンファレンスへの参加、症例提示および質疑応答、オンラインクルズスなどを通じて膠原病領域の診療を体験し、膠原病の身体診察、臨床推論、治療などを包括的に学ぶ。

2. 教育目標

- ① グループ学習の中でリウマチ・膠原病学の最新の知識を自ら習得する。
- ② 問題解決能力を有する医師としての素養を身につける。
- ③ 病歴の聴取と身体所見を取れるようにする。
- ④ 免疫学の知識を応用して病態を理解し、他者に説明できるようにする。
- ⑤ 医師国家試験合格に必要な知識の習得と問題解決能力を高める。

3. 臨床実習の特徴・特色

- ① 膠原病の患者さんの診察を行い、実践的な診断法、治療法を習得する。
- ② 症例検討会、講義、回診を通じて学生が多くの患者さんから学ぶ機会が多い。
- ③ 学生主体のケーススタディを通じた発展学習を行う。
- ④ 外来見学を通じ多くの患者さんの診察を学ぶ。
- ⑤ 症例提示の仕方、カルテの書き方、読み方を習得する。
- ⑥ <u>個々の疾患に関する知識と基本的な問診および身体診察については、すでに講義および OSCE で学んでいる内容を前提としています。講義と OSCE の内容をよく復</u>習の上、臨床実習に臨んでください。

4. 主な内容 (病棟実習、回診、カンファレンス等)

- ① 病棟回診: 金子教授回診(月曜午前)
- ② 症例検討会(金曜日夕方)
- ③ ケーススタディ、クルズス:症例を通じた膠原病の病態理解
- ④ 病棟実習:症例を担当し、指導医、専修医、研修医とディスカッションし、実践的な知識・技術を習得する。
- ⑤ 外来実習:専門外来見学(初診・再診)、関節エコー・キャピラロスコピー

5. 評価方法

レポート、口頭試問、実習態度、出席などの総合評価による。

臨床実習担当·連絡者 実務連絡 花岡 洋成 (内線) 62315

<u>太田 裕一朗</u>(内線)<u>62315</u>

学生指導·相談 花岡 洋成 (內線) 62315

太田 裕一朗(内線)62315

E-mail: yuichiro.ohta@keio.jp

授 業 科 目: 一般·消化器外科学臨床実習

臨床実習期間: 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

外科学とはすなわち侵襲学である。およそすべての外科的処置は患者に傷をつけ(侵襲を与え)、患者は自らの力で治癒しえた後に何等かの利益を得る。一般・消化器外科臨床実習では、この患者に与える侵襲や、治癒の過程、あるいはトラブルへの対処について、手術や(周術期の)病棟業務への参加を通じて一緒に考える。

2. 教育目標

- ① 一般・消化器外科疾患の病態と術前・術後管理の把握。
- ② 患者への接し方を含めた診察方法の習得。
- ③ 治療方針決定までの外科的思考過程の理解。
- ④ 基本的外科手術手技の習得。

3. 臨床実習の特徴・特色

- ① 主治医と病棟医の指導の下、手術や周術期の病棟業務への参加を通じて、外科診療を体験する。
- ② 担当症例に関するレポート作成やプレゼンテーションを通じて、病態の理解を深める。
- ③ 模擬術前カンファレンスを自ら行って、診断から外科的治療の方針決定までの流れを体験する。
 - ⑤ ハンズオントレーニングに参加し、基本的外科手術手技を学ぶ。
 - ⑥ Student Doctor として臨床の現場で患者さんに積極的に接することで、医学的な判断を下すための覚悟、これに伴う責任感を体感する。

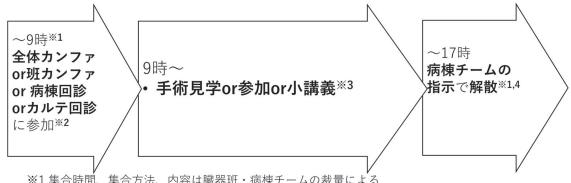
4. 主な内容(病棟実習、回診、カンファレンス等)

- ① 各自,担当スタッフを明示するので**実習開始前日までに**,メールで担当スタッフ へ連絡を取ること。
- ② 実習初日の 8:00AM に 1 号館 9 階 (多目的 2) にてガイダンスを行う。
- ③ 第1,2週の週間予定表、手術予定表などの実習資料が、あらかじめ学生課よりメールにて送信されるので、実習中は常に携行すること。
- ④ 学生1人にスタッフおよび病棟医(レジデント;卒後6-9年目)各1人が担当となり、実習期間中は中心となって指導する。
- ⑤ 学生は手術見学のみならず病棟での診療参加を必須とする(クリニカルクラークシップ型実習)見学に終始せず、治療方針決定プロセスの理解、手技の実施、介

助など積極的な参加を求める。

- ⑥ 期間中、学生は担当スタッフの所属する臓器班と行動を共にしながら実習を行う。まず朝は小講義やハンズオントレーニング、もしくは臓器班ごとのカンファレンスや処置に参加し、9 時 AM ごろからは希望する手術に参加あるいは見学を行う。(下図参照)朝のスケジュールは臓器班ごとに異なるので、別途配布された資料を確認して間違ないように参加する。
- ⑦ 担当スタッフの指示がある場合は、それをすべての実習予定に対し優先する。
- ⑧ 学生は症例およびそれに関連するテーマを与えられ、患者を診察し、手術を見学 する。最後にレポートを提出する。
- ⑨ 担当症例のレポート作成指導も担当スタッフが行う。
- ⑩ 実習(糸結び/縫合トレーニング・乳腺・血管・手術器具)、小講義(<u>術前評価</u>、 <u>術後管理、模擬術前カンファレンス</u>、食道、<u>キャリア形成</u>、胃、大腸、肝胆膵、補助療法、Surgical Site Infection、移植)を各種行う。小講義は5項目(下腺)については対面あるいはオンラインにて実施し、それ以外はオンデマンド配信にて実施する。
- ⑪ 毎週木曜朝7時45分に、一般・消化器外科モーニングカンファレンスを行うので、全員出席すること。モーニングカンファレンスでは、担当症例の発表をする。

【一般・消化器外科臨床実習 タイムスケジュール】



※1 集合時間、集合方法、内容は臓器班・病棟チームの裁量による (あらかじめ集合時間は学生に通知)

※2 ただし早朝の糸結び実習(期間中1回)は、こちらを優先

※3その間に病棟の処置があれば参加(手術見学・参加・小講義を優先)

※4拘束時間は初期臨床研修医と同様17時には解散する。)

- ② 期間中、当科の7領域(上部・下部・肝胆膵・移植・血管・乳腺・ヘルニア)の手 術のうち、5領域以上の手術参加・あるいは見学を必須とする。なお、このうち最 低2件は手術への参加を必須とする。手術見学・参加件数の上限はない。
- ③ **試問は行わない。**参加した臨床、小講義や実習の各場面における複数評価項目の総合点数で評価する(後述)。
- ⑭ 実習終了時には担当症例レポート(必須)、アンケート等を提出する。

5. 評価方法

試問による評価は行わない。以下の採点基準(合計 200 点満点)の得点率により評価する。

- 1. 指導教員の評価 (5 段階評価*1) x5⇒25 点満点
- 2. 指導レジデントの評価 (5 段階評価*12) x5⇒25 点満点
 - ※ 1: 出席を含めた、学生としての最低限の行動が取れていれば3以上
 - ※ 2:期間中、当科の7領域(上部・下部・肝胆膵・移植・血管・乳腺・ヘルニア)の手術のうち、5領域以上の手術参加・あるいは見学、うち最低2件は手術への参加ができていれば3以上、術野参加2件以上を満たしていれば2以上、それ以外は1以下。
- 3. ハンズオントレーニング教員の評価(5 段階評価^{*34}) x3 ⇒60 点満点
- 4. 小講義 (対面 or オンライン) 教員の評価 (5 段階評価^{*34}) x 2⇒40 点満点
 - % 3: 出席すれば 3以上。欠席 0、途中のスマートフォン使用 or 遅刻は $1\sim2$
 - ※ 4:指導者の都合による中断・中止、すなわち休講 or 手術・指導教官の指示による欠席・途中退席は5
- 5. 小講義 (オンデマンド) 小テスト点数 (5点満点) ⇒30点満点
- 6. 症例レポート評価(堀)(5段階評価^{※56}) x4 ⇒20 点満点

※5:提出すれば3以上。

※6:レポート未提出は実習終了とはみなさない。

臨床実習担当・連絡者実務連絡堀周太郎(内線) 67572実務連絡清島亮(内線) 67531学生指導・相談北郷実(内線) 67548

授 業 科 目: 小児外科学臨床実習

臨床実習期間: 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

小児外科疾患を通じて、小児診療の技術、手術手技の習得を目指す。また、クルズスを通じて小児 輸液に関する知識の構築、スライド作成とケースプレゼンテーションの実際を身につけることがで きる。

2. 教育目標

- 1 小児外科診療のみならず総合的な小児診療の技術を身につける。
- 2 小児外科疾患、特に新生児、乳児、幼児の病態の特色と術前・術後管理の把握。
- 3 小児の特殊性を背景とした治療方針決定までの外科的思考過程の理解。
- 4 基本的な小児外科手術手技の習得。
- 5 回診におけるケースプレゼンテーションのトレーニングと症例報告形式での スライド作成技術の習得。

3. 臨床実習の特徴・特色

- 1 各学生に指導医が割り振られ、実習内容や到達目標の確認が密になされる。
- 2 学生は実習中、担当症例を持ち、患児を自ら診察する。
- 3 回診時に包交、抜糸等の処置の介助を体得する。
- 4 原則的にすべての手術症例を見学、もしくは参加し外科手技を学ぶ。
- 5 担当症例に対して考察すべきテーマを見つけ、文献検索によって病態の理解を深め、それを 症例報告形式のスライドにまとめる。
- 2 週目は関連病院実習にて、小児外科の common disease を学ぶ(但し、日程によって関連病 院実習を行わない場合がある)。
- 4. 主な内容 (病棟実習,回診,カンファレンス等)
 - 1 患児の処置の介助、回診時の包交の介助、手術の見学・参加。
- 2 教授回診における担当患者のプレゼンテーション。
- 3 小児の輸液、栄養管理などのクルズス受講。
- 4 シミュレーターを用いた採血、点滴などの実施。
- 5 担当症例と課題について報告会で発表。

5. 評価方法

実習態度、プレゼンテーションおよびレポートの内容を基に規定に沿って評価・ 採点する

臨床実習担当·連絡者

加藤 源俊 (内線) 62328

学生指導・相談

加藤 源俊 (内線) 62328

心外

授業科目:心臟血管外科学臨床実習

臨床実習期間 : 1週(30時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

循環器疾患の外科治療につき理解を深める。主に人工心肺を使用した手術を見学し、人工心肺の 役割やその侵襲につき理解する。手術後管理を見学し、強心剤を含めた循環管理を理解する。

2. 教育目標

- ① 心臓血管外科診療について理解を深める。
- ② 心臓血管外科の卒前レベルの知識・技能の総まとめを行う。
- ③ 循環器内科,小児科心臓班との併診に必要な疾患の概略を理解する。
- ④ 心臓血管外科における特殊性,とくに high risk 手術に際しての患者・家族への informed consent の重要性を認識する。
- ⑤ 医師国家試験に必要な知識の取得と問題解決能力を養う。
- 3. 臨床実習の特徴・特色
 - ① 心臓血管外科の成人病棟や小児病棟での術前・術後診療に参加し、心臓血管外科患者を 診察する。
 - ② 診察の後、症例及びそれに関するテーマに関し学習する。
 - ③ 手術見学により、心臓血管外科手術治療の体系を理解する。
- 4. 主な内容 (病棟実習,回診,カンファレンス等)

#授業の開始時間終了時刻は、臨床実習開始を行う前の週に連絡を行います。

- ① 症例及びそれに関するテーマに関し、ディスカッションを行う。
- ② 指導医のもとで診察・検査などの指導を受ける。
- ③ 手術見学を行う。
- ④ 病棟回診において心臓血管外科術後管理について学習する。

5. 評価方法

症例レポート,口頭試問、診察態度、実習態度、出席状況などを総合して行う。

臨床実習担当・連絡者

<u>山﨑 真敬</u> (内線) <u>62331</u>

高橋 辰郎 (内線) 62331

学生指導·相談 <u>志水 秀行</u> (内線) <u>62331</u>

授業科目:呼吸器外科学臨床実習

臨床実習期間 : 1週(30時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

呼吸という極めて重要な生理機能を司る肺など呼吸器系の外科疾患における病態生理、解剖の理解を深める。学生はカンファレンスでの討議、病棟回診での患者診察、手術室での手術見学、胸部構造の画像読影、縫合実習を通じ、呼吸器系の外科疾患の診療を体得する。

2. 教育目標

- ①呼吸器外科患者の入院経過をみることで診断から治療が完結するプロセスを理解する。
- ②上記の過程を通して患者に対する接し方、診察の仕方など医療人として基本的な態度を身に付ける。
- ③呼吸器外科が扱う疾患の病態、検査法、手術法、人工呼吸管理、周術期管理などを体験し理解 する。
- ④呼吸器内科との連携が必要な病態および連携の仕方を理解する。
- 3. 臨床実習の特徴・特色
 - ①指導医による指導の下、診察、検査、手術、術前術後の管理等を体験する。
 - ②CT の読影や手術見学により、胸部臓器・器官の解剖を理解する。
- 4. 主な内容 (病棟実習,回診,カンファレンス等)
 - ①回診に同行し診察の基本技術を学ぶ。
 - ②呼吸器外科手術を見学或いは参加し、胸部臓器・器官の解剖と手術の内容を理解する。
 - ③胸部単純 X 線写真や CT、PET-CT などの読影に関する基礎を習得する。
 - ④担当症例についてのプレゼンテーション、文献検索およびレポート提出を行うことで、呼吸器 外科に関する知識を学習する。

実習スケジュールは下表の通りである (詳細は臨床実習予定表を参照のこと)。

月曜日 AM7:30 8B 病棟多目的ルーム 1(診療) にてカンファレンス・回診

午前 手術見学

(午後 手術見学)

火曜日 (午後 手術見学)

水曜日 (AM9:30~ 手術見学)

(午後 手術見学)

木曜日 AM 7:30 8B 病棟多目的ルーム 1(診療) にてカンファレンス・回診

(午前 手術見学)

金曜日 AM7:30 臨床研究棟3階 呼吸器外科セミナールームにて抄読会・回診

その後、1) 8B 病棟多目的ルーム 1(診療)にて朝倉専任講師によるクルズス

2) 臨床研究棟 3 階 呼吸器外科セミナールームにて菱田准教授による縫合実習

5. 評価方法

実習出席率、実習態度から総合的に評価する。

臨床実習担当·連絡者 実務連絡 大久保 祐 (內線) 67649

学生指導・相談 大久保 祐 (内線) 67649

授 業 科 目: 脳神経外科学臨床実習

臨床実習期間: 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

実臨床の場で診察・診断・手術・術後の管理といった脳神経外科における治療の過程を指導医 とともに学ぶことで実践的な臨床能力を身につけられるような指導を行う。

2. 教育目標

- ① 臨床の場に自ら参加することで、医学・患者の心・医療の実際を理解し、主体性を持った 医師としての考え方を養う。
- ② 脳神経外科手術や画像診断に必要な解剖学的・放射線的知識を学ぶ。
- ③ 脳神経外科疾患の病態および背景となる脳の生理学的知識を学ぶ。
- ④ 脳神経外科疾患の診断、検査の進め方と外科的治療方針決定の過程を理解する
- ⑤ 脳神経外科患者の診察方法を習得する。

3. 実習の特徴・特色

- ① 脳神経外科の症例を受け持ち、指導医のもとで診察を行い、術前検査の必要性や解釈を学ぶ
- ② 受け持ち患者を中心に多くの手術を見学し、手術治療の実際を学ぶ。
- ③ 各専門分野の小講義を受講し系統講義の内容の理解を深めるとともにより実臨床に即した知識を得る。
- ④ カンファレンスに参加し担当症例のプレゼンテーションをして理解を深める。
- ⑤ 緊急手術に関しても PHS で適宜連絡を行い緊急奨励の治療の流れと手術の実際を体験する。

4. 主な内容

- ① 実習中に患者を受け持ち、その患者の画像所見・術前診察を指導医とともに行い、手術に 参加し、術後の診察・画像評価を指導医とともに行う。
- ② 受け持った患者について、十分な考察を行った上でレポートを作成し症例や脳神経外科疾患に対する理解を深める。
- ③ 実習中に基礎的な糸結びなどの外科手技を練習し習得する。
- ④ 実習中に基礎的な脳神経領域の画像読影術を習得する。

5. 実習スケジュールについて

- ① 1週間前までに担当者から学生にメールにて集合場所等連絡を行う。
- ② 臨床実習手引書のスケジュール表を参考のこと。

6. 担当者名

① 学生実習責任者 戸田正博

② クルズス

I. 脳腫瘍 植田良

II. 脳血管障害 秋山武紀・高橋里史

III. 脳神経解剖学·放射線診断学 水谷克洋

 IV. てんかん
 杉山一郎

- ③ 手術見学指導 水谷克洋、田村亮太
- ④ レポート評価・指導・採点 三輪点、北村洋平

7. 評価方法

カンファレンス、手術見学、クルズスの出席点および実習態度、レポートの内容により総合評価を行う。

臨床実習担当・連絡者 実務連絡 水谷克洋 (内線) 67667

学生指導・相談 水谷克洋 (内線) 67667

授業科目: 産科学臨床実習

臨床実習期間 : 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

妊娠までの一連の臨床プロセスを包括的に学ぶ。すなわち、将来の妊孕能維持管理も含めた排卵障害、月経障害などを診る生殖内分泌医療、不妊症・不育症を対象とした生殖医療全般、妊娠・産褥を対象とした周産期医療について、総合的な管理を外来実習、病棟実習、シミュレーター実習、選択的座学を通じて学ぶ。

2. 教育目標

- ① 生殖医療・周産期医療の診療を見学・体験し、性周期および妊娠の成立~分娩・産褥の流れを 系統的に理解する。
- ② 実臨床を通じて、医師国家試験に必要な知識を習得・整理する。
- ③ 経腟分娩、帝王切開の臨床現場に立ち合い、生命誕生の瞬間の医療について実践的に学ぶ。
- 3. 臨床実習の特徴・特色
- ① 外来見学研修は集中力を高めて短時間で効率的に(90分)。
- ② 帝王切開では第2助手として手術に参加して術野間近で実体験を。
- ③ 必修クルズスは全てシミュレータを用いた体験型。五感で実習。
- ④ 実技と知識を整理する座学クルズスは選択性。興味対象に特化できる。
- ⑤ 効率的に充実した実習を!
- 4. 主な内容 (病棟実習、回診、カンファレンス、院外実習等)
- ① 【病棟実習】病棟当番医師とともに、チームカンファレンスに参加して病棟管理を実体験する。
- ② 【分娩・手術実習】経腟分娩および帝王切開に各1症例以上立ち会う。特に帝王切開では第2 助手として手術に参加する。
- ③ 【外来実習】生殖医療・周産期医療の実際を見学し、検査の進め方や治療方針のたて方を学ぶ。

5. 評価方法

実習態度(70%)、口頭試問(30%)をもって評価する。

070 - 4833 -

臨床実習担当・連絡者

内田 浩 (PHS) -3892

学生指導・相談 内田 浩 (PHS) -3892

池ノ上学 (PHS) -3874

授業科目:婦人科学臨床実習

臨床実習期間 : 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

婦人科学の実習では、婦人科の良性/悪性疾患、女性ヘルスケアなどの基礎的病態を学ぶだけでなく、婦人科での特有の問診の取り方や疾患の特殊性を理解する。さらに、婦人科手術に積極的に参加し、婦人科手術解剖を学び、外科的手技として必要な縫合や結紮の基礎を習得する。対面およびwebでのクルズス、外来見学、手術参加、縫合/結紮練習を通じて、婦人科診療の基礎的知識および婦人科手術の基本を学ぶ。

2. 教育目標

- ① 婦人科患者の診療を学生自身が体験し、診療記録の整理ができる。
- ② 日本産科婦人科学会により制定された卒前教育方針の基づく婦人科学の卒前レベルの知識・技能の総まとめ。
- ③ 婦人科学および産科学の関連性の認識・理解。
- ④ 婦人科手術に必要な解剖および主な術式の理解。
- ⑤ 医師国家試験に必要な知識の習得と問題解決能力の訓練。
- 3. 臨床実習の特徴・特色
 - ① 2週間の実習期間中、学生1名に対し婦人科スタッフ1名がレポート指導にあたる。
 - ② 婦人科手術(悪性腫瘍手術、腹腔鏡下手術)に入り、術式や骨盤内解剖を学ぶ。
 - ③ 手術に参加した症例についてレポート作成を学生自身で行う。
 - ④ 縫合手技および結紮手技の基本を卓上でしっかり学び、手術で実践する。
 - ⑤ 婦人科外来を見学し、婦人科診療の実際を学ぶ。
- 4. 主な内容 (病棟実習、回診、カンファレンス、院外実習等)
 - ① 外来では婦人科診療の実際を見学し、検査の進め方、治療方針のたて方を学ぶ。
 - ② 手術に参加し、2例のレポートを作成する。
 - ③ 病棟カンファレンス2回。婦人科・放射線科合同カンファレンス1回。
 - ④ 病棟回診につき、病棟処置の実際を知る。
 - ⑤ 婦人科疾患、悪性腫瘍、女性医学、良性疾患に対する症例提示、問診のロールプレイ、 子宮移植などのクルズスに参加する。
 - ⑥ 縫合練習、結紮練習を2週間通して自主的に行い、最終日にそれらの技術到達度試験を 行う。

5. 評価方法

実習態度(30%)、レポート(20%)、口頭試問(20%)、縫合/結紮技術(30%)をもって評価する。

臨床実習担当・連絡者 実務連絡 <u>木須 伊織</u> (内線) <u>62386</u>

学生指導・相談 <u>木須 伊織</u> (内線) <u>62386</u>

增田 健太 (内線) 62386

授 業 科 目: 小児科学臨床実習

臨床実習期間: 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

小児科学臨床実習では、学生の自主性を尊重した選択制を導入する。学生は専攻医とともに診療チームに参加し、業務を分担する(クリニカルクラークシップ)。患者の全人的理解のために、受け持ち患者の症状、病態、心理社会的背景、成長・発達歴を指導医とともに検討する。

2. 教育目標

超低出生体重児から若年成人まで様々な年齢の外来・入院患者に接し、小児科学の二大基本概念である「成長」と「発達」について深く理解する。また、小児特有の疾患について、自ら診断、治療の過程を思考する能力を実践的に養う。

3. 臨床実習の特徴・特色

小児科臨床実習は、クリニカルクラークシップを主体とする。クリニカルクラークシップの主旨は、学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識、思考法、技能、態度の基本的な部分を学ぶことである。系統講義、教科書、文献などから得た知識をもとに患者と接し、指導医とディスカッションしながら実際の診療に参加することにより、知識から思考・実践への過程を習得する。

4. 主な内容(病棟・外来実習、回診、カンファレンス等)

下記プログラムに従い、総合小児科学および小児科各専門領域を実習する。

- 1) 指導医による指導
- ① 病歴聴取・診察技術:病棟受け持ち患者および外来患者
- ② カルテ記載:病棟受け持ち患者(電子カルテシステム内の学生カルテに記載)
- ③ 症例呈示:病棟受け持ち患者(主訴からの診断推論を組み立てる、疾患の病態や疫学を 理解する、治療の立案・実施に可能な範囲で参加する)
- ④ 論文抄読および発表
- 2) 病棟回診(教授、准教授、専任講師、病棟指導医):症例呈示、討議
- 3) 勉強会・カンファレンス:論文抄読および発表、症例検討会、教育講演等
- 4) 小児科研究紹介:小児科学の研究に触れてみる
- 5) スタッフ指導:「ミニミニ CC」形式での症例発表・質疑応答
- 6) Small group teaching: 教授・専門分野スタッフによるクルズス

5. 評価方法

出席、提出物および複数の指導医の採点により、多方面から客観的に評価する。

1) 出席

- 2) 指導医による実習態度・目標到達度の評価
- 3) 勉強会での論文抄読発表の評価
- 4) スタッフ指導での症例発表の評価

臨床実習担当・連絡者 嶋田 博之 (内線 62365、E-mail: hshimada@a5.keio.jp)

学生指導・相談 木実谷貴久 (内線 62365、E-mail: kimiya0920@keio.jp)

授 業 科 目 : 精神医学臨床実習

臨床実習期間 : 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

精神・神経科の実習では、患者の特性や生活背景を踏まえ、患者の bio-psycho-social の要素を包括的に捉え、患者・家族・多職種に適切に対応できることを目標とする。学生は大学病院・単科精神科病院での臨床実践やケースカンファレンスを通して、精神医学臨床推論や医療面接、良好な患者-医師関係の構築などを学ぶ。

2. 教育目標

- ① 精神科患者の診察を学生自身が体験し、記録の整埋ができる。
- ② 精神医学の卒前レベルの知識・技能のまとめ。
- ③ コンサルテーション・リエゾン精神医学(精神科依頼・併診)の概略の理解。
- ④ 医療における精神的要因、とくに患者・医師関係と患者面接の重要性の認識。
- ⑤ 医師国家試験に必要な知識の取得と問題解決能力の訓練。

3. 臨床実習の特徴・特色

- ① 外来と入院の患者を学生が直接に診察する機会が多い。
- ② 外来予診カルテを学生自身で作成する。
- ③ 病棟指導医の診療に密着して指導を受けられる。
- ④ 関連精神科病院で精神科専門病棟に入り、学生が患者を診察する。

4. 主な内容(外来、病棟、回診、カンファレンス、院外実習等)

- ① 外来初診患者に面接して予診を作成する(学生1名で1~3症例)。
- ② 病棟チームの一員として入院患者の診療に陪席し、指導医の指導を受ける。
- ③ 入退院カンファレンス、教授回診において担当患者のプレゼンテーションを行う。
- ④ 2日間の関連精神科病院実習。6カ所の精神科病院へ学生各2~3名が行く。

5. 評価方法

口頭試問、症例報告レポート、実習態度、出席を総合的に判断して行う。

臨床実習担当・連絡者 実務連絡 <u>谷 英明</u> (内線) <u>69136</u>

学生指導·相談 村松 太郎 (内線) 69163

授 業 科 目: 整形外科学臨床実習

臨床実習期間: 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

整形外科は、運動器(骨、軟骨、筋、靭帯、神経)の疾病・外傷を扱う機能外科である。 実習では、担当患者の診察や手術参加、レポート作成を通じて代表的な運動器疾患の診察手技や 画像診断、治療法を理解し、チーム医療・患者対応・多職種連携を実践する。また、研修医に必 要な外科手技(縫合、糸結び、外固定)を習得する。

2. 教育目標

- ・運動器各部位の解剖と機能を説明できる。
- ・医療面接で患者から必要な情報を聴取し、整理してカルテ記載できる。
- ・運動器の診察法(視診、触診、可動域、神経学的診察、誘発テスト)を説明、実施できる。
- ・画像検査(単純X線、MRI、CT)の基本事項を理解し、読影と診断ができる。
- ・代表的な運動器疾患の病態生理を理解し、鑑別診断を挙げて、診療計画を立案できる。
- ・代表的な運動器疾患の保存的治療と手術適応を理解し、説明することができる。
- ・手術における清潔操作(手洗い、ガウンテクニック、清潔野と不潔野の区別)ができる。
- ・運動器疾患の術前、術後管理について理解し、説明できる。
- ・最新の論文を読み、治療法や臨床での疑問点を EBM に基づいて考察することができる。
- ・担当患者のレポートを作成し、プレゼンテーションができる。
- ・器械縫合(単縫合・マットレス縫合・マイクロ縫合)を理解し、正確に実施できる。
- ・糸結び(両手結び・片手結び・外科結び)を理解し、正確に実施できる。
- ・外固定法 (ギプス) の適応と種類を理解し、適切に実施できる。

3. 臨床実習の特徴・特色

- ・病棟診療チームの一員として上級医の指導の下、担当患者の診療・手術を経験し、術前後の流れを通して、整形外科の機能外科としての側面を実感する。
- ・担当症例に限らず、各臨床班の手術や外来見学を通して、整形外科の多様性を学ぶ。
- ・外科手技実習を行い、外傷の初期治療や小外科に必要な知識と技術を習得する。

※整形外科実習では、自主性を重んじ学生自らの学びの姿勢を大切にしており、積極的な学びの 希望については可能な限り対応できるよう、実習内容を調整しています。

4. 主な実習内容 (詳細は臨床実習手引書を参照)

院内実習を基本とし、一部オンラインで行います。必要な資料は事前に Box で提供します。病棟 実習では、各臨床班(脊椎・上肢・下肢・腫瘍)に所属し、臨床班カンファレンスや担当症例の 手術参加やレポート作成を通して、運動器疾患の診断や治療、術前後の流れを学びます。外科手 技実習(縫合、糸結び、外固定)および各種レクチャーは全員で行います。レクチャーは、基本 的に Box の資料で事前学習し、ディスカッションを中心に行います。

※所属する臨床班に関わらず、2週間を通して自由に手術見学、参加可能です。

(暫定スケジュール)

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	月	火	水	木	金
朝回診・	上肢班	股班/膝班	全体カンファ	脊椎班	膝班
カンファ	腫瘍班	腫瘍班	画像回診		
1週目	オリエン	手術・病棟実習	手術・病棟実習	手術・病棟実習	縫合実習
	教授ガイダンス	画像読影レクチ	教授外来見学		
	糸結び実習	ャー			
2 週目	手術・病棟実習	スポーツレクチ	手術・病棟実習	手術・病棟実習	まとめ
	PBL 学習	ャー	教授外来見学	レポート提出	教授総括
			ギプス実習		口頭試問

5. 評価方法

1. 総括的評価:症例レポート評価(内容・プレゼン・質疑 60%)と出席・実習態度(40%)

2. 形成的評価: CC-EPOC を使用して、手技評価やフィードバックなどを行います。

臨床実習担当・連絡者 実務連絡 鳥居暁子 (内線) 67702/akikotorii.2012@gmail.com

学生指導・相談 <u>鳥居暁子(内線)67702/中村雅也(内線)62341</u>

授 業 科 目 : 麻酔学・緩和医療臨床実習

臨床実習期間 : 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

手術室における全身麻酔管理を学ぶことにより、呼吸循環管理の基本や生理学・薬理学の理解を深める。また全身麻酔の導入、気管挿管を実際に体験することで生体のダイナミズムに触れる。 集中治療センター、痛みセンター、緩和ケアセンターの実習では、各部門の果たす役割と麻酔学との関わりについて理解を深める。

2. 教育目標

- ① 手術麻酔、集中治療、疼痛診療、緩和医療の実際を経験し、これらの診療領域の重要性と位置づけを理解する。
- ② 臨床現場において、指導医の下に一部の診療業務を分担しながら(クリニカル・クラークシップ)、麻酔科医が担う役割を理解する

3. 臨床実習の特徴・特色

- ① 麻酔学を理解するため、実際の手術麻酔やシミュレータを用いて実践する
- ② 集中治療医学を理解するため、集中治療室における診療に参加する
- ③ 疼痛学を理解するため、ペインクリニックにおける慢性疼痛の診断や治療、緩和医療におけるがん疼痛への対応、術後痛管理に参加する
- ④ 診療参加型臨床実習を主体とするが、小講義により全般的な理解を深める。
- ⑤ チェックシートを利用し履修内容の自己確認や達成度評価を行う。
- ⑥ 各自に与えられたテーマに関するレポートを作成する。

4. 主な内容 (病棟実習、回診、カンファレンス等)

- ① 手術麻酔:術前評価、麻酔計画、麻酔準備、気道管理、呼吸・循環管理、麻酔器・モニター 機器の機能と使用法、合併疾患の管理や対応、中心静脈穿刺や神経ブロックに用いる体表エ コーの使用法
- ② 集中治療:集中治療に必要な手技や高度生命維持装置、回診やカンファレンスへの参加
- ③ 疼痛診療:急性痛・慢性痛の薬物的治療や透視下神経ブロック
- ④ 緩和医療:症例ベースのディスカッションを通した全人的アプローチ

5. 評価方法

- ① チェックリストによる実習参加状況、実習達成状況の確認
- ② 口頭試問による全般的な理解度の評価
- ③ 各自に与えられたテーマに関するレポートの評価

 臨床実習担当・連絡者
 実務連絡
 増田 祐也
 (内線) 69252

 学生指導・相談
 森崎 浩
 (内線) 62488

授 業 科 目: 臨床檢查学臨床実習

臨床実習期間: 1週(30時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

臨床検査科の実習では、患者の病態を最大限に把握するための臨床検査の的確な選択と解釈を習得することを目標とする。学生は、検査現場の見学研修、対面形式でのケースディスカッション、オンライン配信による RCPC(Reversed Clinico-Pathological Conference)や演習を通じて、検査診断学の実践を学ぶ。

2. 教育目標

- ① 医療における臨床検査の役割と重要性を学ぶ。
- ② 病態診断の為の臨床検査の進め方や検査項目の適切な選択法について学習する。
- ③ 検査成績を評価し、適確な病態診断を行う上での検査診断の基本的な考え方を学習する。
- ④ 臨床検査の検査法の要点を把握し、検査診断との関連を理解する。

3. 臨床実習の特徴・特色

- ① 症例呈示やデータ演習あるいはスライドカンファレンスなどの多彩な場を提供し、トレーニングとディスカッションを通して臨床検査の進め方、検査成績の読み方、検査診断の基本的な考え方を学習することができる。
- ② 基本的な検査について、検体採取、検体処理、検査実施などの実習を行うなかで検査 結果が得られる背景を理解し、その限界を把握すると共に検査を行う上での注意点や 問題点を習得することができる。
- ③ 当大学病院臨床検査科の各分野を見学し、臨床検査が今日どのように行なわれている かを学ぶとともに、医療における臨床検査の役割とチーム医療の考え方を修得するこ とができる。

4. 主な内容

血液、化学・免疫、一般、腫瘍、微生物、心機能、呼吸機能、神経機能検査につき各担当教員より指導を受け、次の内容で臨床実習を行う。

- ① 採血および代表的な検査の実習
- ② 検査診断の演習(症例呈示、データ演習、スライドカンファレンス)
- ③ 検査室の見学

5. 評価方法

出席状況、実習態度を重視するとともに、口頭(あるいは筆記)試験を行い総合的に評価する

 臨床実習担当・連絡者
 実務連絡
 通井 昌俊
 (内線)
 62510

 学生指導・相談
 涌井 昌俊
 (内線)
 62510

授業科目:輸血臨床実習

臨床実習期間 : 1週(30時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

輸血臨床実習では、献血から患者への輸血までの流れを理解し、実例を通して、リスクとベネフィットを勘案した適応の考え方や輸血検査を学習する。また、臨床導入されてきた再生医療等についても学習する。

2. 教育目標

- 輸血の適応、種類、量について説明できる
- 輸血の副反応について説明できる
- 慶應義塾大学病院で実際に行われた輸血の適応について評価できる
- 血液製剤の保存法について説明できる
- 輸血に必要な検査(血液型判定、交差適合試験、不規則抗体検出)ができる
- 自己血貯血・瀉血、成分採血の目的や方法について説明できる
- 献血から血液製剤製造までの流れを説明できる
- 持続的可能な血液安定供給と若者の献血率向上について持論を言える
- 再生医療等製品について説明ができる

3. 臨床実習の特徴・特色

多職種により支えられている医療現場に実際に触れながら、将来医師として必要不可欠な輸血医療・細胞治療に関する造詣,輸血臨床での実践的知識と技術を習得する。

4. 主な内容

- ① 輸血臨床の基礎知識、症例検討(ウェブ授業):双方向授業を通して基礎知識を確認する。
- ② 病院内見学(自己血・成分採取室、細胞プロセッシングセンター、輸血管理室)、採血・輸血検査実習:採血を相互に実施して患者・医師の立場を経験する。自分の血液を用いて輸血検査法(血液型判定、交差適合試験、不規則抗体検出)を習得する。
- ③ カルテ調査とレポート作成:慶應義塾大学病院で最近実際に実施された自己血輸血と同種血輸血について、適正に実施されたかを考察する。電子カルテから必要な医学情報を収集し、医学的な文書形式に倣って、短期間に簡潔にまとめる力を養う場でもある。
- ④ オンデマンド学習 (DVD、PPT): 献血現場、血液製剤製造の流れを学習する。また、再生医療等製品に関する知識や実際の流れを学習する。
- ⑤ まとめのテストと感想 (Google Formで回答)

5. 評価方法

出席内容、Google Formによる試験及びレポート等で行う。

 臨床実習担当・連絡者
 実務連絡
 山崎理絵
 (内線) 69397 r-yamazaki@keio.jp

 学生指導・相談
 田野崎隆二(内線) 69396 rtanosak@keio.jp

授業科目:総合診療医学臨床実習

臨床実習期間 : 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

総合診療科の実習では、家族や地域の文脈を踏まえ、患者の身体・心理・社会的要素を包括的に捉え、患者・家族・多職種に適切に対応できることを目標とする。学生は大学病院外来、オンラインでのケースディスカッション、地域の診療所や病院での経験を踏まえ、臨床推論、予防医療、行動変容、地域診断、EBM、多職種連携の実践などを学ぶ。

2. 臨床実習の特徴・特色

- ・オンラインの模擬ケースに取り組み、問診、臨床推論、検査プランの立て方、プロブレムリスト の作り方、アセスメント&プランの立て方についてフィードバックを受けながら学ぶ。
- ・外来研修では、初診患者の予診を通して主訴に応じた問診・診察や、再診外来での多疾患併存患者の管理を学ぶ。
- ・院外実習では、大学病院とは地域やセッティングの異なる医療の違い、多職種連携の実践について学ぶ。
- ・地域診断を通して、地域や個人の背景が人々の健康に影響を与えうること(健康の社会的決定要因;SDH など)を学ぶ。
- ・医療連携推進部で退院支援看護師や医療ソーシャルワーカーのシャドーイングを通して、退院支援の実践や他の職種の視点を学ぶ。

3. 教育目標

- ・主訴に応じた病歴聴取、身体診察を行い、感度・特異度を意識した臨床推論ができる
- ・症例について型を押さえたプレゼンテーションができる
- ・臨床疑問について適切なリソース(Up to date や Dynamed など)で検索することができる
- ・患者中心の医療の方法について説明できる
- ・患者ごとに推奨される予防的介入を挙げることができる
- ・地域診断の有用性を説明し、実践することができる
- ・地域やセッティングによる医療の違いを説明できる
- ・退院後の生活を意識した退院支援のポイントや各職種の役割について説明できる

4. 主な内容

院内実習、院外実習とオンライン臨床実習を組み合わせて行います。対面実習は大学病院内の外来実習、退院支援実習と地域の院外実習を予定しています。オンライン実習では Google classroom 上で模擬ケースを提示し個別に取り組んだ後に、Web 会議システムを用いてディスカッションを行います。スケジュールや実習の詳細は実習の前週に keio.jp のメールアドレスに案内を送信します。

実習スケジュールの例(※初日と最終日以外は個人ごとにスケジュールが異なります)

	月	火	水	木	金
1週目	AM:オリエンテーション	外来実習	オンライン	院外実習	院外実習
	PM:臨床推論 WS		実習		
	地域診断オリエン				
2週目	オンライン実習	退院支援実習	外来実習	地域診断発表	振り返り

5. 評価方法

院内・院外実習中やオンラインディスカッションの態度評価 (40%)、オンライン実の提出物の評価(30%)、地域診断実習の発表の評価(30%)で評価を行う。

臨床実習担当·連絡者 実務連絡 安藤崇之(内線 69371)

(メールアドレス) takayuki.ando@keio.jp

学生指導・相談 安藤崇之(内線 69371)

授業科目: 放射線医学臨床実習

診療科: 放射線診断科、放射線治療科

臨床実習期間 : 2週(60時間)

【実際に臨床の現場で働く医師が、患者さんとその家族に接する医師としての心構えを教えながら、病気の 診断・治療を含め、学生が臨床実践能力を獲得できるよう総合的な指導をおこなう】

1. 科目の概要

放射線診断科と放射線治療科に大別される。診断科では多種多様な画像診断と画像誘導下で行う治療(インターベンショナルラジオロジー: IVR)を、治療科では放射線を使った侵襲性の少ないがん治療を有効に活用できることを目標とする。機器見学、症例検討、シミュレーションなどを通じて放射線医学を学ぶ。

【放射線診断科】

1. 教育目標

GIO: 画像診断 (X線, CT, MR, 超音波, 核医学, 血管造影) や画像下治療(インターベンショナル・ラジオロジー: IVR)を正しく有効に実践するための、知識や能力を習得する。

SBO: (1) 各画像検査の特徴、侵襲度や所要時間、必要な前処置など、主治医として画像検査を依頼する際に、知っておくべき注意点を身につける。

SBO: (2) 代表的疾患の画像所見を理解し、基本的な読影ができるようになる。

SBO: (3) IVR の手技を知り、その適応を理解する。

SB0:(4)放射線診断や IVR における被ばく軽減の原則を知り、実行できる。

2. 臨床実習の特徴・特色

- ① 小講義やオンデマンド資料を利用して、画像診断の基本を効率的に学ぶ。
- ② 画像検査の現場を見学する機会を設け、各検査の特徴や活用法について学ぶ。
- ③ CT診断演習において、基本的な読影スキルを身につける。
- 3. 主な内容(病棟実習,回診,カンファレンス,院外実習等)
 - ① 検査室の現場見学など
 - 1) X線造影・CT・MRI 検査室を見学する(1号館1階・2階)。
 - 2) 核医学 (PET/SPECT) 検査室を見学する (3号館南棟2階)。
 - 3) 血管造影と IVR の装置および手技を見学する (1号館 4階)。
 - 4) 放射線被ばく管理の基礎を学ぶ。
 - ② 以下の臓器や領域の画像診断に関する知識を習得する
 - 1) 横断画像解剖
 - 2) 中枢神経
 - 3)胸部
 - 4) 心大血管
 - 5) 肝胆膵
 - 6)消化管
 - 7) 泌尿器および女性骨盤
 - 8) 救急疾患

4. 評価方法

出席・学習状況および試験結果から総合的に判定し、治療科成績と併せ判定する。

臨床実習担当・連絡者 実 務 連 絡 <u>玉木 直美</u>(内線) <u>62477</u> 学生指導・相談 奥田 茂男(内線) 62477

【放射線治療科】

1. 教育目標

- GIO: 各種放射線治療の原理と方法を理解しエビデンスに基づく疾患治療の考え方を身につける。
- SBO: (1) 放射線治療の対象となる疾患が理解できる。
- SBO: (2) 放射線治療の照射範囲の決定ができる。
- SB0: (3) 放射線治療計画 (線量計算) の方法が理解できる。
- SBO: (4) 放射線治療の基本となる物理学・生物学の知識を習得する。
- SB0: (5) 最新の放射線治療が理解できる。

強度変調放射線照射

定位放射線照射

小線源治療

2. 臨床実習の特徴・特色

- ① 放射線治療が実際にどのようにおこなわれているかを見学し理解する。
- ② 外部放射線治療の計画シミュレーションをおこなう。
- ③ 小線源治療、定位治療などの治療を見学し知識を深める。

3. 主な内容(病棟実習,回診,カンファレンス,院外実習等)

- ① 実際に各自で放射線治療計画を行い、評価を受ける。
- ② オスキー実習で放射線治療に関する説明法を習得する。
- ③ さまざまな癌腫についての小講義を受け、放射線治療に関連したトピックスを理解する。

4. 評価方法

出席・学習状況および試問もしくはレポートの結果から総合的に判定し、診断科 成績と併せ判定する。

 臨床実習担当・連絡者
 実務
 連絡
 公田
 龍一
 (内線)
 69188

 学生指導・相談
 大橋
 俊夫
 (内線)
 69207

注意事項

<2023年度授業形態の基本方針>

「対面授業」 : 授業時数のうち、対面で行う授業が半数以上のもの

「オンライン授業」: 授業時数のうち、オンライン (リアルタイムまたはオンデマンド) で行う授業が半数 以上のもの

- ・第1~4学年設置の基礎教育科目、基礎・社会医学系科目、自主学習については、「対面授業」とする。
- ・臨床実習は、「対面授業」とする。
- ・臨床医学系の講義科目については、原則として「オンライン授業」とする。
- ・第5~6学年設置の「メディカル・プロフェッショナリズムV・VI」は、原則として「オンライン授業」とする。
- ・第6学年設置の「基礎臨床統合医学」、「CPC」については、原則として「オンライン授業」とする。
- 1. 信濃町キャンパスの時間割

 1時限
 $09:00\sim10:30$

 2時限
 $10:45\sim12:15$

 3時限
 $13:00\sim14:30$

 4時限
 $14:45\sim16:15$

 5時限
 $16:30\sim18:00$

 6時限
 $18:10\sim19:40$

2. 信濃町キャンパス学生課の事務取扱時間

月 ~ 金:午前8時45分~午後4時45分

土・日・祝:業務は行っていません。 年末年始:業務は行っていません。

3. 授業を欠席する場合

欠席届を学生課学事担当へ提出してください。欠席届の用紙は学生課学事担当にあります。また下 記のウェブサイトからもダウンロードできます。

 $\underline{\text{https://www.students.keio.ac.jp/sn/med/procedure/apply/files/3946mc00000029os.pdf}}$

欠席届は原則として欠席することがわかっている場合は事前に提出し、それが無理である場合は、 出席開始日から起算して14日以内(土、日、祝日、学生課学事担当の閉室期間を含めない)に、上 記業務時間内に提出してください。なお、欠席届提出の際は原則として欠席の理由を証明する診断書 等の添付書類が必要になります。

4. 試験を欠席する場合

巻末掲載の「試験・進級・卒業等に関する細則(専門教育科目)」をよく確認してください。

5. 裁判員候補者に選定された場合の取り扱いについて

本大学は、いわゆる「公欠」という考え方をとっていません。裁判員候補者に選定され、授業の出 欠に迷う場合は、学生課学事担当へご相談ください。なお、授業の性質上欠席が認められない場合が ありますので、ご留意ください。

6. 不正行為について (学則第188条)

不正行為のあった場合は学則第 188 条により厳重に処罰されます。なお、不正行為それ自体はもちろんのこと、不正行為と疑われるような行為およびそれを助長するような行為も処罰の対象となりえますので真摯な態度で授業やレポート・試験に臨んでください。

7. 授業資料について

授業内で各種資料が提供されることがありますが、それらは専ら各自の学習に使用するためのものであり、他者への再配布やインターネット上への掲載等の二次利用は厳しく禁止されています。また、管理(取得、保管、廃棄等)について十分配慮してください。

8. 学習指導面談について

原則として原級にとどまった学生および休学を希望する学生には学習指導面談の機会が設けられます。これ以外にも、学習上の質問や疑問がある場合には随時学習指導面談を行っていますので、希望者は学生課学事担当へ問い合わせてください。

9. 休学について (学則第152条)

病気その他やむを得ない理由により欠席が長期にわたる場合には、保証人連署の上願い出て休学することができます。休学は原則として年度単位で認められ、休学願は原則として11月末日(末日が土日・祝日の場合はその前の平日)までに学生課学事担当へ提出しなければなりません。休学の事由が消滅したら、休学者は速やかに就学届を提出しなければなりません。校医が健康上修学に不適当と認めた学生に対しては、休学を命ずることがあります。

<休学期間の授業料等について>

入学 2 年目以降で休学した場合、各学期において授業料・施設設備費・実験実習費の全額を減免します。納付が必要な費用は在籍基本料および代理徴収費用(研究会費・自治会費・学生健康保険互助組合費等)となります。学費の詳細および金額については、「慶應義塾ウェブサイト」→「入学案内」→「学費」ページを確認してください。なお、留学・休学中も、本大学の学事・学生生活支援、図書館、情報環境等に関する諸サービスの利用が可能であるため、在籍基本料は減免の対象となりません。

<休学期間の上限について>

2023 年度より学則第 152 条が改正されたことに伴い、以下のとおりとなりますので注意してください。

休学期間は通算して6年を超えることはできません。休学期間が6年を超過しても就学しない場合、 退学処分となります。

※特別の事情のある者については、教授会が休学期間の上限を別に定めることがあります。

※2022 年度以前の入学者については、2023 年 4 月 1 日以降の休学から、休学期間の通算に含めます。 ※休学の事由が母国における兵役義務による場合、その事由の期間は休学期間の通算に含めません。

10. 成績について

慶應義塾共通認証システム(keio. jp)を使用することにより、学業成績表を Web 上で閲覧できます。 利用に当たっては慶應義塾共通認証システム(keio. jp)のパスワードが必要となります。

11. 試験結果及び成績評語に関する質問について

試験結果及び成績評語について明確な事由をもって問い合わせたい場合は、巻末の注意事項をよく 読んで手続きを行ってください。

12. 土曜日について

時間割上授業の組まれていない土曜日においても補講や試験が組まれることがあります。

13. 保健管理センターの実施する健康診断等について

時間割の中に組まれている健康診断等については必ず受診してください。受診しない場合実習等を 受けられないことがあります。

なお、保健管理センターより返却された健康診断結果や検査結果等の書類、その他自分で受けたワクチン接種証明書などの健康管理関係書類は今後、実習、留学、就職の際に必要な資料になります。 提出を求められた際には速やかに提出できるよう、原本は必ず自分で大切に保管しておいてください。

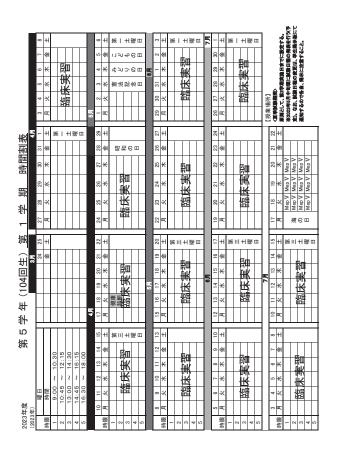
14. 緊急時における授業の取り扱いについて

台風・大雨・大雪・地震等の各種自然災害や、大規模な事故等による鉄道等交通機関の運行停止、その他緊急事態の発生により、休講措置をとらざるを得ない場合はWeb サイト等を通じてお知らせします。

「慶應義塾トップページ」→「在学生」→「塾生サイト」

<その他の注意事項>

授業開始後に緊急事態が発生した場合は、状況により授業の短縮や早退など別途措置を講じます。 掲示や構内放送、上記のWeb サイトによる大学からの指示に従ってください。



	13	+1							10	H	劍	H ?	記令	é6	ш			ķ.	M E	胀		
	12	御		<u> </u>	Ш				6	串								※国民の祝日は原則として休鮮日ですが、	は日に日に日に	単、さん		
	Ξ	ĸ		Ð	K				80	ĸ		1111	ф					17.7	36	199		
	10	¥		1	长品			1	7	¥		Ð	K					AM PI	(H)	1.89	۰	
	6	×		Ē	H			1	9	×		ŀ	K					の祝日	E (9)H	¥(います	
uk	∞	田	-	送-	< €	3 🗆	I	1	2	Щ		Ä	加用					※国民	7.09	∄23 E	EE C	
時間割表	F		let			mind .	_		F		lar	_		mini -	_	H		г				mind
噩	9	+	\$12	ŧΙ	#	։	ш	ı	က	+	無	1	#1	関ロ			2	+1	210	i I	+	盟
蓝	2	- 田	L					ı	2		H	1			L	8	_	4	L	H	in in	
	4	*	L	L	L	L		2月	-	*	Н	4	υ	L	L		29	*	L	-	胀	
翔	e	¥	L						31	¥	L	į	11小子				28	¥	L		品所	
小	2	×							30	×	Ц	ď	띮		L		27	×		Ę	H	
က	-	町		I	K =	I		L	59	町							26	町				
紙	r							ſ	27	#1							24	Н				
a i	r				112			Ī	56	俳							23	俳	Ж	(===	幽	₩
5 学年(104回生)	r				K			Ī	25	ĸ	П	100		Г	Г		22	K	Г	<u> </u>	Ē	
04	r				벳			ī	24	¥	П	l l	\mathbb{R}^{+}				21	¥	Г	Ť	K	
\Box	r				7 1			ī	23	×	П		盟	T	Т		20	⊀	r	Ħ	品不	
47.	r							ī	22	月	Н		F	T	T		19	田	Г	Ė	툽	
们	F			ī	ī		ī	F	E		<u> —</u>	_	_	_			F	L	 	_	_	_
無								L	20	┝	#	111	+1	盟口	П 		17	+	Ŀ	_	+	體
•			10:30	12:15	14:30	16:15	18:00	L	19	串	Ц	- 17		L	L		16	邻	L	L	m	
				ı					18	₭	Ц	Ė	11/	L	L		15	K	L	ű	不米田	
	L		~	5 ∼	~	5	~ 0		17	¥	Ц	ł	К				14	¥	L	Ιt	5	
4.7	盟	時間	00:6	10:45	13:00	14:45	16:30		16	⊀	Ц	7	떕				13	⊀	L	뷥	뜶	
2023年度(2024年)	L	my	L						15	町	Ц		Ц				12	町	L			
202:		時限	-	2	က	4	2	垩		時限	-	2	က	4	വ	굨		時限	-	2	က	4

		14	H							Ξ	H	詍	H S	記令	9	Ш		11	Ŧ					
		13	俳		1					10	俳							10	徘					
		12	К		Ιī	半半	Г			6	К			П				6	К	П				
		=	¥	П	_	旧	Г	Г		8	¥	Г	Ð	Ķ		Г		8	水	П	HH H	\mathbb{K}		_
		10	×	悼	腴	H 光十	128	베		7	×	H	변변			H		7	Ϋ́	Н		7 1111		_
		6	A	- 1	长-		3 🗉	ı		9	Ы	H	÷	Ξ.		H		9	Ы	H	_	Ë		_
表		H	Ш	L					ł	H	_	_	_			_	П	E		Ш		_		_
時間割表		7	H	子器して来	エン実習	-ca +	άĦ			4	H	栅	ŧ I	H	関	п		4	H	栅	ŧ	H	盟	п
體业		9	俳							3	御							3	御					
ш,	i	2	ĸ							2	К		100	見				2	ĸ	П	100			
期		4	¥						2月	-	¥		ł	₩ K			3月	-	¥	П	1	\mathbb{K}		
		3	×	П	T			Г		31	×	Г		虚显		Г		28	×	П	7	虚		_
4 学年(104回生) 第3学	1月	2	A	ļ	崇 #	细土	<u>.</u>			30	月		f	F				27	A	Н	_	F		
		E								E	_	_	_	_		_	П	E	Ш	Ш		_		_
紙										28	H							25	+1			Ш		
										27	俳							24	御		ŧ	K		
回										26	К		100	見				23	К	Ж	(1014	脳	#1	п
9		Г	Г	П				Г		25	¥	Г	ļ	K K		Г		22	水	П	+	K		_
\Box		Г	П	П	T			Г		24	×	Г	4	虚		Г		21	×	П	Į.			_
で! 仕		H	H	Н	r	Г	Г	H		23	Я	H	f	F		H		20	В	Н		H		_
绁		E		Ц				_	1	E	_	_	_			_	П	E	Ш	Ш		_		_
第 4										21	H	栅	111	Н	盟	п		18	Ŧ	無	111	H	盟回	п
紪				C	D.	0	22	0		20	御							17	④					
				10:30	12:15	14:30	16:15	18:00		19	ĸ		1					16	ĸ	П	10	田米		
										18	¥		H	K				15	¥	Ħ	1	K K		_
		四點	時間	9:00	10:45	13:00	14:45	6:30		17	×		H	 				14	×	Н		~ 明 日 日 日 日		
		器,	255	တ	9	13	4	16		Н	⊢	⊢	Ηž	噩	—	⊢		⊢	Н	Н	_	屵	Н	_

1			
١			
١			

第三土曜日

2	H	紙	1 +	H EE	ш		30	+	無	1 +	一盟	ш	ac	Н.						26	Н						24	H	*	李林	盤	
He -	俳		T				56	伯		T		П	7.0	佃			T			25	組	T	明習	[23	俳	Т	Т		_
31	К	T	R				28	К	П	157	a a	П	96	к		1				24	К	T	t#K	•			22	К	T	照	,	7
30	¥	T	# H	K -		÷.	7.6	×	П	1	ĸ	П	25	×		1	Κ <			23	ĸ	蘇非	(能)	€6	ш		21	¥	T	床実習		7
59	ێ	Ť	1			となりま	9.6	×		-12		П	2	: ×		7	튭			22	×	Т	K				20	×	Ť	酮		1
	町	T	Ť	T		1 美智日	35	Щ	П	P	ī	П	20	=		I	Ŧ			21	щ	1	醞				19	Щ	†	T		1
账	_	_	_	_	_	ř. ME	E	_	_	_	_	4	ŀ	_	_		_	_			_	_	_	_	╘			_	_	_	Ш	╛
188	H					海中に	23	+	2.4	\$ \$	6 0	1	Š	Ή,						19	Η	紙	11+1	뿞	ш		17	H	紙	ШΗ	₩ 0	1
時間割表250元	伸					12.85 tz 8	22	伯					06	御		12				18	組						16	쉠				
54	ĸ		2	Œ		日土が	21	К		1	III V		ĝ	ĸ		1	Ш			17	ĸ		鮂	1			12	К		膃	ı	
期	¥		Ð	₩		Я23Н)	20	×		南田出	N (C C	×		H	€			16	K		床審習	•			14	¥	T	*		
2 小张	×		1	人里		10 B · 4	19	×		#	HOD T		1.	: *		工	ᇤ			15	×		隔月				13	×		臨床実		
2	町		P	Ħ		RB(1)	13	E					9	=						14	щ		T				12	Щ	T	100		
	_		_			の報道	F	Ė	_	_			F		Ē						_				╡			_		_		7
紙。。	+1	紙Ⅱ	111	日曜	ш	また、着	16	+	紙	11 +	一階	Ш	1	+	紙	Ш	出陸	ш		12	Η	_			\Box		10	H	_			
⊕	佣		1			ります。	5	相				Ц	2	相		P				11	組		EΣη				6	伸		Вп		
<u>-</u>	К					SBとな	77	K		-			2	ĸ		100	W K			10	К		东斯斯	₹_			8	K		床実習	Ш	
104	¥					6000	13	¥		ŧ	Ķ		=	¥		Ĭ	K			6	ĸ		H	1			7	¥		K		
12 12 13 14 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	⊀					いては	12	×		#	Ē		ç	.Χ		71	뮵			8	×		盟				9	×		闘		
学年(104回生) 	Щ					E)(E)	Ξ	=		Ī	٦		o	<u> </u>	ĸ	K -	≥ €	ш		7	щ						9	Щ				
ני	_	Т	Т	Т	Г	9.H 18	H	Τ.,	г			┨	H	Τ.,	г				П	Н					\dashv		Н		_	_	_	┥
紙						EOB(0	H	L		_	Н	ľ	+		П		_		Н	+	無	1 +1	뿞	□		Н	+	紙	1 +1	盟 [П
V		30	2 8	16:15	18:00	が、敬	×	相		15	-	Ц	٩			-	SITTE			4	田						Н	伸	1	Вп		
		10:30			18	第日です	7	K		1	ĸ	Ц	Ľ	×		Ï	iK.			3	К	×	別	3 II	1	12.A	Ш	K		床東智		
		2 ≥		2 2	~	ことを	9	¥		H	Ķ	Ц	ľ	¥		H	昭不来位			2	ĸ		軍署於	₹			30	¥	1	K	Ш	
	聖士	9:00	4 0	14:45	16:30	※国民の投日は原則として休購日ですが、敬老の日(9月18日)については鑑成実習日となります。また、義塾の祝日(1月10日-4月28日)が平日にあたる場合は、臨床実習日となります。 の F	LC.	×	Ц	Į.	ığ.	Ц	°	∗		1	盟		11,9	-	×		₩	1	Ц		29	×		盟	1	
2023年度 (2023年)		ľ		ľ		の報用	4						٩	Ľ						~	щ		虚		Ц		,,	Щ				
2023年月(2023年)	時限	- c	7 0	n 4	2	** EE		時限	-	7	n 4	ß		時間	-	2	ю 4	S		1	整整		2 62	4	S			時題	-	3 8	4	2

授業科目名:メディカル・プロフェッショナリズムV

1. 科目の概要

臨床実習を通じて医療現場をある程度理解していることを考慮し、臨床医として必要な社会医学的視点を身につけるため、社会医学系の医療政策・管理学教室、衛生学公衆衛生学教室、法医学教室が共同で担当し、組織マネジメントの一端としての労務管理、疫学的方法論の応用による問題解決、医療紛争が及ぼす広範囲の社会的負担の3テーマを選定している。

2. 教育目標 (GIO):

- GIO: (1) 労務管理や医師の働き方について、様々な側面から学び理解する。
 - (2) リアルワールドで役立つ疾患予防のための研究の進め方について、実践的な研究計画の作成を行うことを通して、医学、医療の発展、人類の福祉に貢献することの重要性を理解する。
 - (3) 医事紛争が関係者に及ぼす影響、副次的な負担について理解する。

3. 授業予定

口	月・日	曜	時	形	授業タイトル	担当者	授業形態
		目	限	式			
1	7月18	火	1		全体オリエンテーション	以下の	OD
	目			講	主体なりエンケーション	全員	
				義	テーマ1:「病院における労務管理と医師の働き		OD
				我	方」		
					上記テーマについてのオンデマンド動画	宮田裕章	
2	7月18	火	2	演	テーマ1:各自調査とレポート作成	吉村公雄	OD
	目			習	/ VI·行日剛重CVW ITFM	山本博之	
3	7月18	火	3	演	 テーマ 1 : 各自調査とレポート作成	高橋新	OD
	目			習	/ VI. III III III III III III III III III	164 HM 7/21	
4	7月18	火	4	演	 テーマ 1 : 各自調査とレポート作成		OD
	目			習	/ IIII		
5	7月19	水	1		テーマ2: 「リアルワールドで役立つ疾患予防		RT
	日			講	のための研究」循環器疾患、糖尿病等に関する	岡村 智教	
				義	疫学研究のレクチャー・研究計画作成に使用デ	武林 亨	
					ータの解説	原田 成	
6	7月19	水	2	演	テーマ2:各グループに分かれて実際の疫学研	平田 あや	RT
	目			習	究に基づく研究計画の立案①	飯田 美穂	
7	7月19	水	3	演	テーマ 2: 研究計画の立案も続き&発表準備	桑原 和代	RT
	目			習	/ 、4・別九日四ツ立糸も続きの光衣平開	松元美奈子	
8	7月19	水	4	演	テーマ2:各グループ発表&討論	宮川 尚子	RT
	目			習	/ 、4・行フルーノ光衣&討禰		
9	7月20	木	1	講	テーマ 3: 「医事紛争が当事者である病院、そして	藤田眞幸	OD
	目			義	患者側に及ぼす影響」		

10	7月20	木	2	演	割当てられた課題につき文献やインターネット	OD
	目			習	で調べる	
11	7月20	木	3	演	割当てられた課題につき文献やインターネット	OD
	目			習	で調べる	
12	7月20	木	4	演	レポートを作成する	OD
	日			習	レホートをTFIX 9 る	

※RTはリアルタイム (オンライン授業)、ODはオンデマンドを指す。

<u>※当日の Zoom または動画の URL は、Canvas にて通知する。</u>

■注意:内容は変更される場合がある。

4. 授業内容

第1-4回:「病院における労務管理と医師の働き方」(担当者:宮田裕章、吉村公雄、平原憲道、高橋 新)

GIO:病院における労務管理と医師の働き方について理解する。

SBO: (1) 病院や企業における労務管理が問題となった過去の事例を調査できる。

SBO: (2) 病院や企業における労務管理が問題となった事例において、再発防止策・予防策を検討し、意見を述べることができる。

SBO: (3) 医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。

第 5~8 回:「リアルワールドにおける疾患予防のための疫学研究計画」(担当者: 岡村 智教、武林 亨、原田成、平田あや、飯田 美穂、桑原 和代、松元美奈子、宮川 尚子)

GIO: リアルワールドで役立つ疾患のための疫学研究の進め方について、現実の研究に基づいて実践的な研究計画の作成を行うことを通して、医学、医療の発展、人類の福祉に貢献することの重要性を理解する。

SBO: (1) 公衆衛生学的な視点から、医学、医療の発展、人類の福祉に貢献できる研究の重要性を理解する。

SBO: (2) 合理的かつ医療の発展や患者の利益の増進に有用な疫学研究計画の立案ができる。

SBO: (3) 研究の立案・実践・発表における倫理的な配慮ができる。

第9-12回:「医事紛争が当事者、病院、そして患者側に及ぼす影響」(担当者:藤田眞幸)

医事紛争の検討事例の多くは、判決や和解の額やそこに至った理由で最終的に評価されている場合が多く、それ以外の 負担については、忘れられがちである。医事紛争が病院の運営・医師その他の医療スタッフに及ぼす影響について、とくに 損害賠償以外の側面、すなわち副次的な負担について考えてみたいと思う。また、紛争が患者側に及ぼす影響について もあわせて考えていただきたい。

GIO: 医事紛争が当事者、病院、そして患者側に及ぼす影響、とくに損害賠償以外の側面について理解する。

SBO: (1) 医事紛争が当事者に及ぼす影響について-刑事責任と行政処分の面から説明できる。

SBO: (2) 医事紛争が当事者に及ぼす影響について-病院の公的資格認定の面から説明できる。

SB0:(3) 医事紛争が当事者に及ぼす影響について-病院が紛争に伴い必要となる費用負担の面から説明できる。

SBO: (4) 医事紛争が当事者に及ぼす影響について-医師賠償責任保険の面から説明できる。

SBO: (5) 医事紛争が当事者に及ぼす影響について-風評被害、マスコミ報道と対応上の注意点という面から説明できる。

SBO: (6) 医事紛争が当事者に及ぼす影響について-担当医の負担という面から説明できる。(SBO (1) と一部重複する。)

SBO: (7) 医事紛争が当事者に及ぼす影響について-遺族側の負担という面から説明できる。

5. 教科書・参考書

藤田眞幸: 医療関連死 — 医事紛争をめぐる法医学者の視点 医歯薬出版(東京)2016 ISBN 978-4-263-73170-3

6. 評価方法

- ・発表の評価は、グループに対する教員の評価と発表グループ内の個人間相互評価を加えたものによる。
- ・本科目は、実習と同様、すべて出席していることが単位認定の大前提となっている。やむをえず休んだ場合に はレポートなどの課題が課せられる。尚、正式な手続がなされた場合のみ欠席として扱われるものとする。
- ・第9-12回については、講義ビデオの中でレポート課題および提出方法について詳しく説明する。各自、与えられた課題について、提出期限日 (2023 年 9 月 30 日)までに必ず提出すること。WEB での受付となるため、期限を過ぎると提出できなくなるので注意すること。

【学部学則第5節抜粋】

第5節 医 学 部

第1 学部の組織

第119条 医学部に医学科を置く。

第2 授業科目

第120条 医学部の授業科目の種類,単位数および履修時間は,次の通りとする。

1 基礎教育科目の授業科目と単位数

授業科目の種類	授 業 科	目	授業形態	単位数 1年	
外国語科目	英語ボイツフランス	語	通年年年年	2 2 4 4	英語を必修とし,ドイ ツ語またはフランス語 のうちいずれか1科目 必修
人文·社会 科 学 科 目	人 文 科 社 会 科	学学	春・秋 学期, 通年	4	1 科目以上選択履修
基礎科学必修科目	数数数物物物化化化生生生 学学学 学学学 学学学 学学学 学学学 学学学 学学学 学学学 学学	ⅡⅢⅠⅢⅡⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢⅢ	春春秋春秋通春秋通春春通学学学学学 学学 学学 学学 学学 学学 学学	2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
医学基礎教育科目	分子生物学 生物学特 メディカル・ プロフェッショナリズ. E E P	論 ムI	秋学期 秋学期 通 年 野椒潤	2 2 4 1	
合 計				43	

以上のうち、外国語科目8単位(3 科目)、人文・社会科学科目 4 単位以上、基礎科学 必修科目22単位および医学基礎教育科目 9 単位、合計43単位以上は、必ず取得しなければ

ならない。

人文・社会科学科目は,教授会が適当と認める科目とする。

教授会は、教育上有益と認めるときは、本大学医学部に入学する前に他大学等において 履修した授業科目の履修単位を、本大学医学部に入学した後の授業科目の履修により修得 したものとみなすことができる。 教授会は、上記により履修したとみなした単位数について、15単位を限度として卒業に

必要な単位として認定できる。

以上のほかに教授会が適当と認める科目を自由科目として履修することができる。自由 科目で取得した単位は、進級および卒業の条件とはならない。 2 専門教育科目の授業科目、履修時間および単位数

	3133	XETTO*/IXACTO, /IEE		- 1 1	~ .				
	必	修科目	2年	3年	4年	5年	6年	合計 ()内実習	単位数
		ディカル・ コフェッショナリズムⅡ	18					18	1
基礎		ディカル・ コフェッショナリズムⅢ		18				18	1
· 社		ディカル・ コフェッショナリズムⅣ			18			18	1
会		ディカル・ コフェッショナリズムV				18		18	1
医学		ディカル・ コフェッショナリズムVI					18	18	1
系	英語Ⅲ	英語 Ⅲ 演 習	45					45	2
科目	生分 物 学 Ⅱ子	分子生物学 Ⅱ 講義 分子生物学 Ⅱ 実習	21 33					54 (33)	2
	組織学	組織学講義組織学実習	18 19.5					37.5 (19.5)	2

	解剖学	解 剖 学 講 義解 剖 学 実 習	31.5 169.5			201 (169.5)	7
基	発生学	発生 学講義	15			15	1
礎	生理学Ⅰ	生 理 学 I 講 義 生 理 学 I 実 習	48 36			84 (36)	4
	生理学Ⅱ	生理学Ⅱ講義 生理学Ⅱ実習	48 36			84 (36)	4
社	医化学	医 化 学 講 義 医 化 学 実 習	63 36			99 (36)	4
会	病理学総論	病理学総論講義病理学総論実習	48 27			75 (27)	3
医	英語Ⅳ	英語 IV 演 習		45		45	2
学	M C B	M C B 演 習		48		48	3
系	微生物学	微 生 物 学 講 義 微 生 物 学 実 習		30 9		39 (9)	2
科	免疫学	免 疫 学 講 義免 疫 学 実 習		24 7.5		31.5 (7.5)	2
目	寄生虫学·	熱帯医学・寄生虫学講義 熱帯医学・寄生虫学実習		21 3		24 (3)	2
	薬理学	薬 理 学 講 義 薬 理 学 実 習		75 6		81 (6)	4

	医療情報·	医学統計•医療情報講義	37.5			37.5	2
基礎	病理学各論	病理学各論講義 病理学各論実習	63 24			87 (24)	4
	衛 生 学 I	衛 生 学 I 講 義		33		33	2
社会	衛生学Ⅱ	衛生学Ⅱ講義		33		33	2
医学	衛生学 I 衆	公衆衛生学Ⅰ講義		33		33	2
系	衛生学 Ⅱ衆	公衆衛生学Ⅱ実習		33		33 (33)	1
科目	法医学	法 医 学 講 義法 医 学 実 習		25.5 4.5		30 (4.5)	2
	管理 学・	医療政策・管理学講義		21		21	1
自主学習	自	主 学 習	150			150 (150)	5
臨床	Е	Е Р П	30			30 (30)	1
医学系	内和	科学 (呼吸器) 講義	18			18	1
科目	内和	4学(呼吸器)臨床実習		(60	60 (60)	2

	内科学(循環器)講義	30			30	2
臨	内科学(循環器)臨床実習		(60	60 (60)	2
床	内科学(消化器)講義	36			36	2
	内科学(消化器)臨床実習		(60	60 (60)	2
医	内科学(腎臓・内分泌・ 代謝)講義	25.5			25.5	2
学	内科学(腎臓・内分泌・ 代謝)臨床実習		(60	60 (60)	2
7	内科学(神経)講義	24			24	2
系	内科学(神経)臨床実習		(60	60 (60)	2
	内科学(血液)講義	21			21	1
科	内科学(血液)臨床実習		(60	60 (60)	2
目	内科学 (リウマチ・ 膠原病) 講義	16.5			16.5	1
	内科学(リウマチ・ 膠原病)臨床実習		(60	60 (60)	2

	内科学臨床実習アドパンスト				120	120 (120)	4
臨	外 科 学 講 義	49.5				49.5	3
床	一般・消化器外科学臨床実習		(60		60 (60)	2
	小児外科学臨床実習		(60		60 (60)	2
医	心臓血管外科学臨床実習			30		30 (30)	1
学	呼吸器外科学臨床実習		3	30		30 (30)	1
	脳神経外科学講義	12				12	1
系	脳神経外科学臨床実習		(60		60 (60)	2
	産 科 学 講 義		25.5			25.5	2
科	産科学臨床実習		(60		60 (60)	2
目	婦 人 科 学 講 義		24			24	2
	婦人科学臨床実習		(60		60 (60)	2

2
2
2
2
2
2
1
2
1
1
1
1

	放射線医学臨床実習	(60	60 (60)	2
Páli	泌尿器科学講義	25.5		25.5	2
床	泌尿器科学臨床実習		60	60 (60)	2
<i>I</i> /K	耳鼻咽喉科学講義	18		18	1
医	耳鼻咽喉科学臨床実習		60	60 (60)	2
	眼科学講義	18		18	1
学	眼科学臨床実習		60	60 (60)	2
	皮膚科学講義	19.5		19.5	1
系	皮膚科学臨床実習		60	60 (60)	2
424	救 急 医 学 講 義	18		18	1
科	救急医学臨床実習		60	60 (60)	2
目	形成外科学講義	10.5		10.5	1
	形成外科学臨床実習		30	30 (30)	1

	IJ,	ビリテーション医学講義		9			9	1
臨	リハ	ビリテーション医学臨床実習			:	30	30 (30)	1
床	歯	科 学 講 義		10.5			10.5	1
DK.	歯	科学臨床実習			:	30	30 (30)	1
医	病	理診断実習				30	30 (30)	1
	総	合診療医学講義		10.5			10.5	1
学	総	合診療医学臨床実習		(60		60 (60)	2
	感染症学	感 染 症 学 講 義	25.5				25.5	2
系	臨床薬剤学	臨床薬剤学講義		18			18	1
科	漢方医学	漢方医学講義		9			9	1
A-1	症	候 学		30			30	2
目	С	В Т		0			0	0
	臨	床実習入門		90			90 (90)	3

	地垣	基盤	建型臨	床実習		12	20	120 (120)	4
臨床	選	択 🛭	富 床	実 習			60	60 (60)	2
医学	選択雪	型クリニ:	カルクラ	ークシップ			120	120 (120)	4
系科	臨り	末能:	力総	合評 価			6	6 (6)	
B	基础	楚臨力	床 統	合医学			12	12	1
	С		Р	С			15	15	1
	游			義		1,6	606.5	1,606.5	
	実			習		2,	820	2,820	
		i i	Ħ			4,	126.5	4,426.5	191
	自	由	科	目					
	選	択	実	뀀			30	30 (30)	
合	講			義		1,0	606.5	1,606.5	
計	実			習		2,	850	2,850	
	総			計		4,	456.5	4,456.5	191

この他、教授会より「研究医養成プログラム」(大学院医学研究科博士課程早期学位取得プログラム)学生として指定された者は、大学院医学研究科設置科目(単位数は大学院学則に従う。)を自由科目として履修することができる。履修にあたっては、当該科目担当教員の承認、および教授会において定める方法による承認を得なければならない。

「研究医養成プログラム」については、別に定める。

第3 履修,進級および卒業

第121条① 進級および卒業条件は,次の通りとする。

1 第1学年から第2学年への進級条件

基礎教育科目43単位をすべて取得すること。ただし、メディカル・プロフェッショナリズム I および実験科目を除く不合格科目について第2学年で再履修し単位を取得することが可能と判断される場合には、第2学年に進載させることがある。

2 第2学年から第3学年への進級条件

第1学年の全科目およびメディカル・プロフェッショナリズム॥に合格し、さらに第2学年設置の英語 \mathbb{H} 、分子生物学 \mathbb{H} 、解剖学、組織学、発生学、生理学 \mathbb{H} 、医化学および病理学総論の9科目のうち5科目に合格すること。ただし、第2学年設置科目の実習において不合格とされる範囲が、第3学年の再実習ですべて合格できないと判断される場合は、これによらず既然に留める。

3 第3学年から第4学年への進級条件

第2学年設置の全科目、英語V、MCB、メディカル・プロフェッショナリズムⅢ、自主学習および EEP II に合格すること。また、第3学年設置の微生物学、免疫学、病理学名論、薬理学および医学統計・医療情報5科目のうち3科目に合格すること。さらに、内科学 (呼吸器) 講義、内科学 (循環器) 講義、内科学 (消化器) 講義、内科学 (腎臓・内分泌・代謝) 講義、内科学 (神経) 講義、内科学 (加液) 講義、内科学 (リウマチ・膠原病) 講義、7科目のうち5科目に合格すること。ただし、第3学年設置科目の実習において不合格とされる範囲が、第4学年の再実習ですべて合格できないと判断される場合は、これによらず原級に留める。

なお、EEPI を病気やけが、事故その他やむをえない事情によって欠席した者について、第4学年で再履修し単位を取得することが可能と判断される場合には、第4学年に進級させることがある。

4 第4学年から第5学年への進級条件

第3学年設置の全科目、メディカル・プロフェッショナリズムIV、衛生学 I、衛生学 I、公衆衛生学 I、公衆衛生学 I、法医学、医療政策・管理学、CBT および臨床実習入門に合格し、さらに産科学講義、婦人科学講義、小児科学講義、精神医学講義、整形外科学講義、麻酔学・緩和医療講義、臨床検査学講義、放射線医学講義、形成外科学講義、リハビリテーション医学講義、歯科学講義、総合診療医学、臨床薬剤学、漢方医学および症候学20科目のうち16科目に合格すること。

ただし、臨床医学系科目のうち、第4学年における臨床実習が修了しておらず、第5学年の再実習ですべて合格できないと判断される場合は、これによらず原級に留める。

5 第5学年から第6学年への進級条件

メディカル・プロフェッショナリズムV,産科学講義,婦人科学講義,小児科学講義,

精神医学講義、整形外科学講義、麻酔学・緩和医療講義、臨床檢查学講義、放射線医学講義、 泌尿器科学講義、耳鼻咽喉科学講義、眼科学講義、 皮膚科学講義、 救急医学講義、 形成外科学講義、 切ハビリテーション医学講義、 歯科学講義、 総合診療医学、 臨床業別学、 漢方医学および症候学に合格すること。さらに、 内科学 (呼吸器) 臨床実門、 内科学 (循環器) 臨床実門、 内科学 (消化器) 臨床実門、 内科学 (呼吸器) 臨床実門、 内科学 (所能、 中報) 臨床実門、 内科学 (附近、 中報) 臨床実門、 内科学 (附近、 中報) 臨床実門、 所科学 (加速、 中報) 臨床実門、 中级 ・消化器外科学臨床実門、 小児外科学臨床実門、 心臓血管外科学臨床実門, 呼吸器外科学臨床実門、 麻神経外科学臨床実門, 所見科学臨床実門, 所見科学臨床実門, 所見科学臨床実門, 解神経外科学臨床実門, 施和医療臨床実門, 施和医療臨床実門, 施和医療臨床実門, 能和医療臨床実門, 能和医療臨床実門, 於射線医学臨床実門, 統合診療医学臨床実門 に合格すること。

ただし、臨床医学系科目のうち、指定された臨床実習を病気やけが、事故その他やむを えない事情によって長期にわたって欠席した者について、第6学年で再履修し単位を取得 することが可能と判断される場合には、第6学年に進載させることがある。

6 卒業条件

第 1 学年設置の基礎教育科目43単位の取得と,第 2 学年以降に設置される専門教育科目のうち,自由科目を除く全科目および臨床実習総合評価に合格すること。

② 試験実施については、別に定める医学部の試験・進級・卒業等に関する細則(以下「医学 部の試験等細則」という。)による。

第122条 進級条件を満たさない者は原級にとどまり、履修する授業科目は、教授会の定めに よる。

第4 試験および成績評語

第123条 授業科目の試験は、次の通りとする。

- 1 試験は,定期試験および不定期試験とする。
- 2 基礎・社会医学系科目の定期試験は、別に定める医学部の試験等細則による。
- 3 臨床医学系科目の定期試験は、医学部の試験等細則による他、学年全体に主として筆答で行うもの、および臨床実習の終了時にグループ別に行うものとがある。
- 4 専門教育科目の定期試験および追再試験は、教授会が指定する期間内に行うものとする。 ただし、臨床実習終了時の定期試験は、各科配属中に行う。

第124条 病気その他やむを得ない事故のため試験を受けられなかった者は、所定の手続を経て追加試験を受けることができる。

第125条 定期試験は、各科目の講義及び実習を履修した後でなければ受けることができない。 ただし、臨床科目における学年全体に一斉に行われる定期試験は、臨床実習終了前に行うこ とがある。第2学年か5第6学年までの各学年での各授業科目における実習を合計回数の5 分の1以上欠席した場合は、教室の指定する補習を受けない限り実習を終了したものと認めない。

- 第126条① 学業成績の評額は、S・A・B・C・Dの5種とし、S・A・B・Cを合格、D を不合格とする(S=90点以上、A=80点以上90点未満、B=70点以上80点未満、C=60点 以上70点未満、D=60点未満)。
- ② 教授会が認めた特定の科目については、評語をP・Fの2種とし、Pを合格、Fを不合格 とする。
- ③ 他大学等で履修した授業科目を単位として認定する場合に、S・A・B・Cの評語を用いないときは、Gとする。これらの運用については、教授会の定めるところによる。④ 不合格の科目については、所定の手続を経て再試験を受けなければならない。ただし、第
- 1 学年を除く。

【注】上記学則のうち、第120条2の専門教育科目の「単位費」は、2017年度入学者より 適用されます(2016年度以前の入学者には適用されません)。

試験・進級・卒業等に関する細則(専門教育科目)

1959年 3月16日 制定 1959年度より 施行 最終改正:2022年 12月

第1条① 試験を分けて定期試験(本試験および再試験、再々試験)と不定期試験 とする。

- ② 定期試験は、別に定める時期(学年毎に掲示する)に一斉に行うものと、 臨床実習グループ別に行うものとがある。
- ③ 不定期試験は、科目担当教員および学務委員が必要と認めるときに行う。
- ④ 受験者は、学生証を提示しなければならない。
- 第2条① 進級および卒業条件は次のとおりとする。
 - 1 第1学年から第2学年への進級条件(該当なし)

基礎教育科目43単位をすべて取得すること。ただし、メディカル・プロフェッショナリズムIおよび実験科目を除く不合格科目について第2学年で再履修し単位を取得することが可能と判断される場合には、第2学年に進級させることがある。

2 第2学年から第3学年への進級条件(該当なし)

第1学年の全科目およびメディカル・プロフェッショナリズム II に合格し、さらに第2学年設置の英語 III、分子生物学 II、解剖学、組織学、発生学、生理学 I、生理学 II、医化学および病理学総論の9科目のうち5科目に合格すること。ただし、第2学年設置科目の実習において不合格とされる範囲が、第3学年の再実習ですべて合格できないと判断される場合は、これによらず原級に留める。

3 第3学年から第4学年への進級条件(該当なし)

第2学年設置の全科目、英語IV、MCB、メディカル・プロフェッショナリズムIII、自主学習およびEEPIIに合格すること。また、第3学年設置の微生物学、免疫学、病理学各論、薬理学および医学統計・医療情報5科目のうち3科目に合格すること。さらに、内科学(呼吸器)講義、内科学(循環器)講義、内科学(消化器)講義、内科学(腎臓・内分泌・代謝)講義、内科学(神経)講義、内科学(血液)講義、内科学(リウマチ・膠原病)講義7科目のうち5科目に合格すること。ただし、第3学年設置科目の実習において不合格とされる範囲が、第4学年の再実習ですべて合格できないと判断される場合は、これによらず原級に留める。

なお、EEPⅡを病気やけが、事故その他やむをえない事情によって欠席した者について、第4学年で再履修し単位を取得することが可能と判断される場合には、第4学年に進級させることがある。

4 第4学年から第5学年への進級条件(105回生)

第3学年設置の全科目、メディカル・プロフェッショナリズムIV、衛生学 I、衛生学II、公衆衛生学II、公衆衛生学II、公衆衛生学II、法医学、医療政策・管理学、C B T および臨床実習入門に合格し、さらに産科学講義、婦人科学講義、小児科学講義、精神医学講義、整形外科学講義、麻酔学・緩和医療講義、臨床検査学講義、放射線医学講義、泌尿器科学講義、耳鼻咽喉科学講義、眼科学講義、皮膚科学講義、救急医学講義、形成外科学講義、リハビリテーション医学講義、歯科学講義、総合診療医学、臨床薬剤学、漢方医学および症候学20科目のうち16科目に合格すること。ただし、臨床医学系科目のうち、第4学年における臨床実習が修了しておらず、第5学年の再実習ですべて合格できないと判断される場合は、これによらず原級に留める。

なお、CBTおよびOSCEに合格することが、臨床実習参加の要件となるので留意すること。

5 第5学年から第6学年への進級条件(104回生)

メディカル・プロフェッショナリズムV,産科学講義,婦人科学講義,小児科学講義,精神医学講義,整形外科学講義,麻酔学・緩和医療講義,臨床検査学講義,放射線医学講義,泌尿器科学講義,耳鼻咽喉科学講義,眼科学講義,皮膚科学講義,救急医学講義,形成外科学講義,リハビリテーション医学講義,歯科学講義,総合診療医学,臨床薬剤学,漢方医学および症候学に合格すること。さらに、内科学(呼吸器)臨床実習,内科学(循環器)臨床実習,内科学(消化器)臨床実習,内科学(腎臓・内分泌・代謝)臨床実習,内科学(神経)臨床実習,内科学(血液)臨床実習,内科学(リウマチ・膠原病)臨床実習,一般・消化器外科学臨床実習,小児外科学臨床実習,心臓血管外科学臨床実習,呼吸器外科学臨床実習,脳神経外科学臨床実習,産科学臨床実習,婦人科学臨床実習,小児科学臨床実習,精神医学臨床実習,整形外科学臨床実習,麻酔学・緩和医療臨床実習,臨床検査学臨床実習,輸血臨床実習,放射線医学臨床実習,総合診療医学臨床実習に合格すること。

ただし、臨床医学系科目のうち、指定された臨床実習を病気やけが、事故その他やむをえない事情によって長期にわたって欠席した者について、第6学年で再履修し単位を取得することが可能と判断される場合には、第6学年に進級させることがある。

6 卒業条件(103回生)

第1学年設置の基礎教育科目43単位の取得と、第2学年以降に設置される専門教育科目のうち、自由科目を除く全科目および臨床実習総合評価に合格すること。

第3条 定期試験は、それぞれの科目の講義及び実習を終了した後でなければ受け

ることができない。

但し、臨床科目における定期試験は、臨床実習前に行うことがある。

- (注) 実習を合計回数の1/5以上欠席した場合は、実習担当教員と学務 委員の協議によって指定補習を受けないかぎり実習を修了したもの と認めない。
- 第4条① 定期試験は、本試験及び再試験、再々試験とする。
 - ② 本試験を未受験の者のうち、第5条の要件を満たし、学務委員長が必要と認めた者に対しては追試験が行われる。
 - ③ 再試験は、本試験を受験して合格しなかった者および本試験を未受験の 者に対して行われる。
 - ④ 再々試験は、追試験・再試験を受験して合格しなかった者および追試験・ 再試験を未受験の者に対して行なわれる。科目によっては、再々試験が設 定されない場合もあるが、その場合であっても、追試験・再試験を未受験 の者のうち、第5条の要件を満たし、学務委員長が必要と認めた者に対し ては再々試験が行なわれる。
- 第5条 病気やけが、事故その他やむをえない事情によって試験当日に欠席する者は、所定の欠席届を提出するものとする。その際、傷病による場合は医師の診断書を、やむをえない事情による場合はその事情を証明する書類を添えて、原則として試験開始までに学生課を経て、その教室の学務委員(又は科目担当教員)に届け出るものとする。緊急の場合は速達郵便・電報又は電話等によって欠席を届け出て、可及的速やかに上記書類を提出する。
- 第6条 定期試験の実施期日は、試験の行われる2週間前までに学生課が公示する。 但し、臨床実習時の試験期日は学生課からは公示しない。
- 第7条 再試験・再々試験受験者および追試験受験者は学生課の公示指定する期間 中に学生課に申し出て、手数料(1科目につき、2,000円)を納入する。但 し、臨床実習時の追・再試験は科目担当教員が指定する日までとする。 受験者は、上記手続と引き換えに学生課が発行する受験票を試験監督に提
- 第8条 試験の出題は科目担当教員が行い、試験の実施はその教室の学務委員の責任において公明厳正に行う。

示しなければならない。

原則として遅刻者の試験場への入室は、退出者があった場合には認められない。

試験に関し不正行為を行った者については、退学・停学・その試験を不合格とする等、相応の処置が行われる。

学務委員は採点結果を学務委員長に提出する。その期間は試験終了後10 日以内とする。

- 第9条 科目の成績は、その教室の学務委員が科目担当教員と協議し、定期試験及 び不定期試験の得点及び各種資料を加味して決定する。
- 第10条 科目の合格は成績60 点以上とし、下記の評語をもって学生課に提出する。

S=90点以上

A=80点以上90点未満

B=70点以上80点未満

C=60点以上70点未満

D=60点未満(不合格)

第11条 再試験受験者であって成績素点が60点を越える者については、その点数 と60点との差の50%を60点に加えた補正点数をもって科目成績とし、第 10条の評語を適用する。

> したがって、再試験受験者に対する評語は $A \cdot B \cdot C \cdot D$ の4種とする。 また、再々試験受験者に対しては科目の合否のみを決定し、評語は $C \cdot D$ の2種とする。

第12条 2017年度以降入学者については、成績評語とあわせてGPA (Grade Point Average) を適用する。

GP (Grade Point) S=4. 0

A = 3.0

B = 2.0

C = 1.0

D = 0.0

GPA= (履修した授業科目の単位数×当該授業科目のGP) の総和 ・履修した授業科目の単位数の合計

なお、GPAは学習指導のためにも活用され、著しく低い場合には、退 学が勧告される等の指導をする場合がある。

附則 この細則は2022年12月5日に改正し、2023年4月1日から適用する。

定期試験に関する注意事項

1 不正行為について

不正行為があった場合は、学則第188条により厳しく処罰されます。不 正行為それ自体はもちろんのこと、不正行為と疑われるような行為およびそ れを助長するような行為も処罰の対象となりますので、真摯な態度で試験に 臨んでください。

2 やむを得ず試験を欠席する場合の取り扱い

試験は必ず出席してください。病気やけが、事故その他やむを得ない事情で試験を欠席する場合は、原則として試験開始前までに、その事情を証明する書類を添えた欠席届を学生課に提出してください。緊急の場合は、試験開始前までに学生課に電話で連絡の上、可及的速やかに欠席届を提出してください。

欠席理由が正当と認められた場合は、再試験(または再々試験)を「追試験」の扱い(成績評価方法は欠席した試験と同等とする)で受験することができますが、試験機会が増えるわけではないことに注意してください(例えば、再試験が進級後の学年に設定されている科目は、当該年度は「未取得」の扱いで進級判定が行われます)。

3 遅刻の取り扱い

試験開始 10 分前には着席し、試験開始を待つようにしてください。やむを得ず遅刻する場合は、実際の試験開始時刻より 20 分までは受験を認めますが、それ以降は理由の如何を問わず受験できません。その場合は、上記 2の欠席の取り扱いに従ってください。

なお、遅刻した場合も、試験時間延長の措置はありません。交通機関の遅延等の可能性も考慮して、早めに会場に到着するように心がけてください。

4 途中退室について

実際の試験開始時刻より30分経過後から途中退室を認めますが、他の学生の試験の妨げとならないように留意してください。

なお、試験終了10分前からの退室は認めません。

※ 台風・大雨・大雪・地震等の各種自然災害や、大規模な事故等による鉄道 等交通機関の運行停止、その他緊急事態が発生した場合は、試験の中止や 開始時間を遅らせる等の措置を取ります。その場合は、個別の指示に従っ てください。

以上

レポート・論文の執筆上の注意

レポートや論文(卒業論文を含む)の執筆・提出は、定期試験や授業内試験と並んで大学での学修成果としての到達度を証する重要なものです。

自分の文章で自分の考えを述べることが必須であり、ウェブサイトや文献、他者のレポートから抜粋、丸写ししたものを提出することは許されません。担当教員から他の学生と共同で作成するよう指示がある場合を除き、執筆は一人で行ってください。また、文献等から得た情報をレポートや論文に載せる場合には、自分の考えと明確に区別するために、出典を明示することが必要です。出典が明示されていない不適切なレポートや論文は剽窃や盗用と判断され、不正行為として、譴責、減点、停学または退学等の懲戒処分について検討を行う学則 188 条に関する委員会で審議を行います。

以下に重要なポイントを挙げておきます。

- 1. 自分の意見や考えとそれ以外の部分を明確に分ける。
- 2. 他人の文章や見解などを参照・引用する場合は必ず出典(文献名と著者およびページ、ウェブサイトの場合には URL とページタイトル、およびその取得日)を明らかにする。
- 3. 文言を引用するときは、誤字も含めて一字一句正確に引用する。
- 4. 参考にした文献やウェブサイトがある場合には、2.と同様に必ず参考資料として (文献名、著者、ページ、ウェブサイトの場合には URL とページタイトル,および その取得日を)記載する。
- 5. 出典の示し方はルールに従う (下記の文献も参照のこと)。

出典の示し方の一般的な方法については、以下の参考書やチュートリアルなどで学んでください。

佐藤望,湯川武,横山千晶,近藤明彦著『アカデミック・スキルズ(第 3 版) —大学生のための知的技法入門』(慶應義塾大学出版会,2020 年)

河野哲也著『レポート・論文の書き方入門(第 4 版)』(慶應義塾大学出版会,2018 年)情報リテラシーのためのウェブチュートリアルシステム『KITIE』(慶應義塾大学日吉メディアセンター,2019 年) http://project.lib.keio.ac.jp/kitie

2023年度 授業時期・試験時期見取図【4~6年生】

		学 年
### 100 100	1	
### 1		
1.00m	7 - 23/7	ィカル・プロフェ
から		
照像行		
登出等		
神経性的での関係的		
加藤経管学		
### ### ### ### ### ### #### #########	☆ → → ① ②	
世帯学科		
照代学		
原表学経験		
無数字 - 第24年 - 第	→ →	
MCB		
照相学学・非生活学		
正安学社・反射情報		
日本学校	学	
原理の各論		
原生学学	報	
中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の		
から		
所称学 (所の) 講義		
所称学 (用化労) 議義		
10mg 10m		
か科学 (中部) 議義		
四科学 (由密) 護義		
所作ではウッチ・原原的 注版		
照神路外科学議義	原病)講義	
日本の		
E E P II		
版作業別学		
小児科学講義		
10 10 10 10 10 10 10 10		
無床検査学課義		
※ ① ② ※ ① ② ※ ② ② ③ ③ ③ ③ ③ ⑥ ※ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
医療政策・管理学		
※ 日本の		
歴科学講義		
婦人科学講義		
精神医学講義		
新命学・緩和医療講義		
形成外科学講義		
限科学講義	講義	
技術科学講義		
I		
耳鼻咽喉科学講義		
放射線医学講義		
歯科学講義		
りかじりテーション医学講義 枚色医学講義 衛生学 I 公乗衛生学 I 公乗衛生学 I (BT) (OSCE) ポリクリ C P C 基礎臨床統合医学 は、1 3 4 7 1 4 3 3 8 8 12 1 15 20 2 1 8 21 15 20 2 1 8 21 15 20 2 1 8 21 15 20 2 1 8 21 15 20 2 1 8 21 8 20 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 15 20 2 2 1 8 21 20 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
数色医学講義 1		
 衛生学 I 衛生学 I 企業衛生学 I 企業衛生学 I 企業衛生学 I 一十 (万医学 一十 (区を持定) (CBT) (CSCE) ボリクリ C P C 基礎臨床総合医学 基礎臨床総合医学 4 3 2 3 8 8 12 1 15 20 2 1 8 21 15 20 2 1 8 21 19 19 	義	
 衛生学目 公衆衛生学目 公衆衛生学目 (交替生学目 (交替生学目 (交替生学目 (交替生学目 (交替生学目 (交替生学目 (ではため) (ではため)		
公衆衛生学 I		
公衆衛生学 II		
漢方医学 症候学 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
症候学 (CBT)		
臨床実習入門 (CBT) (CBSCE) ボリクリ C P C 基礎臨床統合医学 定類呼喚料目総数 4 1 3 4 7 1 4 3 3 8 8 12 1 15 20 2 1 8 21 1 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19		
(CBT) (OSCE)		
(OSCE)		
ポリクリ CPC 基礎甌床統合医学 左郊吟映科目繪教 4 1 3 4 7 1 4 3 3 8 8 12 1 15 20 2 1 8 21 8 2 1 1 15 20 2 1 8 21 8 2 1 1 15 20 2 1 8 21 8 2 1 1 15 20 2 1 8 21 8 2 1 1 15 20 2 1 8 21 8 2 1 1 15 20 2 1 8 2 1 8 2 1 8 2 1 1 15 2 1 8 2		
CPC →→→→ 基礎臨床統合医学 →→→ 定期映料目総数 4 1 3 4 7 1 4 3 3 8 8 12 1 15 20 2 1 8 21 19 ① 4 3 2 3 3 6 2 2 9 6 2 1 8 22 19 ② 1 1 5 1 1 3 1 8 4 5 21		
基礎臨床統合医学 定期試験科目総数 4 1 3 4 7 1 4 3 3 8 8 12 1 15 20 2 1 8 21 ① 4 3 2 3 3 6 2 2 9 6 2 1 8 22 ② 1 1 5 1 1 3 1 1 8 4 5 21		
定期試験科目総数 4 1 3 4 7 1 4 3 3 8 8 12 1 15 20 2 1 8 21 19 19		
① 4 3 2 3 3 6 2 2 9 6 2 1 8 ② 1 1 5 1 1 3 1 8 4 5 21		
② 1 1 5 1 1 3 1 8 4 5 21		式験科目総数
3 2 5 2 1 2 9		
	3	
中 3	中	

<注意事項>

詳細な試験日程は、学生課掲示板にて通知いたします。掲示時期は、以下の通りです。

<試験日程の決定時期>

夏季試験 5月学務委員会(予定) 冬季試験および春季試験 10月学務委員会(予定)

[※] 矢印(→)は授業が行われる期間(授業と試験が両方実施される月は試験のみを記載)
※①は太試験、②は再試験、③は再々試験を意味する。
※ 下線(①)は授業内に定期試験を行う科目を意味する。
※ 中は中間試験を意味する。
※ 英語は基本的に授業期間内に試験を行う。
※ 「メディカルブロフェッショナリズム」「MCB」は出席およびレポート課題で評価する(原則として試験は行わない予定)。
※ 試験の実施月は変更になる可能性があるので、最終的な試験日程は掲示等で確認すること。

試験結果及び成績評語に関する質問制度について

<対象となる科目の範囲>

信濃町キャンパス設置(2年生以上)の医学部授業科目

<締切>

- ・試験結果については発表掲示から1ヶ月以内。ただし、年度末の進級に関わる試験結果については当該年度末まで(3月末日が土日・祝日の場合はその前の平日)。
- ・成績評語は当該年度末まで(3月末日が土日・祝日の場合はその前の平日)。

試験結果及び成績評語に対して明確な事由をもって問い合わせたい場合、上記締め切りまでに学生証を持参の上、信濃町キャンパス学生課学事担当へ学生本人が申し出てください。質問用紙に記入していただき、必要であれば授業科目責任者(学務委員)へ問い合わせます。

なお、この制度はレポートや試験の結果を再度確認するものであり、「再度試験を追加で実施して欲しい」「再度課題等を提出するので評価をし直して欲しい」といった嘆願内容は一切受け付けません。また、成績質問に関係のない内容や感情的な文言は記入不可としますのでご注意ください。

試験結果に関する質問は、自分で正しい解答を入念に調べ、自己採点などをした上で納得できない場合のみ認めます。ただ単に「正答を教えて欲しい」、「点数を教えて欲しい」といった内容の質問は受け付けられません。

成績評語に関する質問の際は、担当教員が再確認する時の資料とするため、授業への出席回数や課題を提出した回数、試験の受験回数等できるだけ詳細に記載してください。

塾生、保護者・保証人の方々にかかわる個人情報の取扱い

- 1 義塾が取り扱う学生等(卒業後を含みます。)の個人情報の具体的な内容は、次のとおりです。
 - ① 塾生ないし塾員本人の氏名・住所・電話番号・生年月日・出身校等
 - ② 保護者・保証人の氏名・住所・電話番号(自宅および緊急連絡先)・塾生ないし塾員本人との続柄等
 - ③ 塾生ないし塾員等の学籍・成績・健康診断・在学中のその他の活動履歴情報,寄付金・ 慶應カードの申し込みデータなど
- 2 個人情報を取り扱うに当たっては、あらかじめ利用目的を特定し、明示いたします。特定した利用目的以外には利用しません。また、利用目的を変更する場合は、本人に通知するか、義塾のホームページへの掲載、所定掲示板への掲示等により公表いたします。
- 3 個人情報は、以下の諸業務を遂行するために利用します。
 - ① 入学手続および学事(学生が関与する学術研究活動を含みます。)に関する管理,連絡および手続
 - ② 学生生活全般に関する管理,連絡および手続
 - ③ 大学内の施設・設備利用に関する管理、連絡および手続
 - ④ 大学外の施設での実習等に関する管理,連絡および手続
 - ⑤ 寄付金,学校債,維持会および慶應カードの募集および評議員選挙等に関する書類ならびに義塾が発行する刊行物の発送
 - ⑥ 塾生ないし塾員本人および保護者・保証人に送付する各種書類の発送および諸連絡
 - ⑦ 三田会または同窓会に関する管理,連絡および手続
 - ⑧ 上記①から⑦までに付随する事項 また、個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータは、本学における入学 者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。
- 4 上記3の業務のうち、一部の業務を慶應義塾から当該業務の委託を受けた受託業者において行います。業務委託に当たり、受託業者に対して委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、個人情報の全部または一部を提供することがあります。
- 5 三田会または同窓会から要請があったときは、当該三田会または同窓会に所属する者の 個人情報を当該組織の活動に必要な範囲で提供することがあります。
- 6 法律上開示すべき義務を負う場合や、塾生ないし塾員本人または第三者の生命、身体、 財産その他の権利利益を保護するために必要であると判断できる場合、その他緊急の必要 があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に第三者に個人情報を提供する ことがあります。
- 7 慶應義塾は、上記3~6の利用目的の他には、特にお断りする場合を除いて個人情報を利用もしくは第三者への提供をいたしません。
- 8 学生の学業成績表は保証人にも開示いたします。これは、学生の自律性を尊重しつつも、 保証人の方に学生の学修状況をご理解いただきたいからにほかなりません。
- 9 慶應義塾の個人情報保護に関する規程は、以下の URL でご覧頂くことができます。 URL (https://www.keio.ac.jp/ja/privacy-policy/index.html)

慶應義塾大学医学部